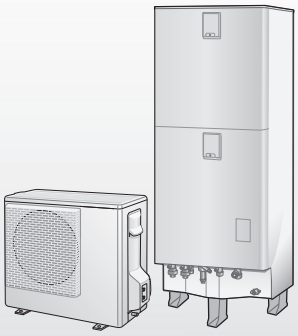
Panasonic

取扱説明書

フルオート（全自動）
家庭用ヒートポンプ給湯機

エコキュート
使いこなし術



システム品番

■パワフル高圧力型
● 屋外用
HE-370SUFQS
HE-460SUFQS

■高圧力型
● 屋外用
HE-370SFQS
HE-460SFQS
● 屋内用
HE-370SFQMS
HE-460SFQMS

保証書別添付

工事説明書別添付

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」(4 ～ 7 ページ) を必ずお読みください。**
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書、工事説明書とともに大切に保管してください。
- お買い上げの機種のユニット品番は、本体のネームプレート (9 ページ) と本書の「仕様」(62 ページ) でご確認ください。

パナソニックの会員サイト「CLUB Panasonic」で
「ご愛用者登録」をしてください

詳しくは裏表紙をご覧ください

お問い合わせの多い項目を探しやすくしました。

使用可能湯量の表示が
毎朝、違う。56ページ

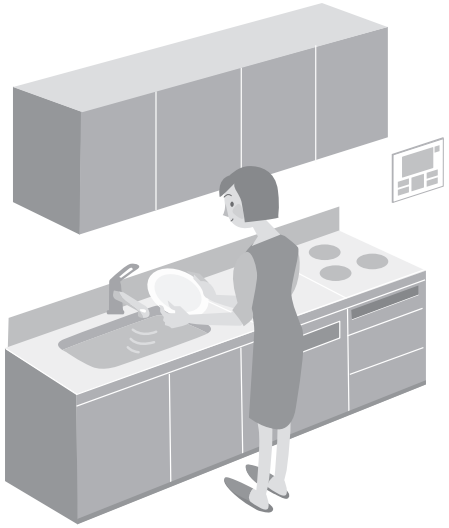
ふろ湯量を
少なめに設定できない。17ページ

お湯が
ぬるい。15ページ
足りない。30ページ
冬場に出ない。48ページ

追いだきで
お湯が熱くならない。20ページ
時間がかかる。

浴そうに
水やお湯が勝手に出てくる。40ページ

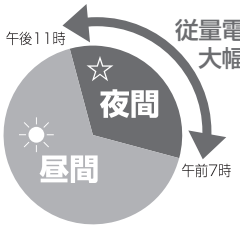
タオルや浴そうに
青い色がつく8ページ



■電力料金契約について

この給湯機は申請によって、時間帯別電灯通電制御型、季節別時間帯別電灯通電制御型として料金割引が適用されます。

詳しくは、お買い上げの販売店または電力会社にご確認ください。



「夜間」の開始と終了時刻は一例です。

もくじ

確認と準備

安全上のご注意 4
使用上のお願い 8
各部の名前と働き 9
● ヒートポンプユニット・貯湯ユニット・リモコン

使いかた

お湯を使う 14
● 給湯温度・給湯中表示・給湯量メーター・混合水栓
お湯をはる 16
● ふろ自動・ふろ温度
ふろ湯量・ロック設定・ふろ予約・保温時間
追いだきする 20
お湯や水を足す 21
● たし湯・高温たし湯・ぬるめ
通話するコミュニケーション・呼び出すボイス 22
浴室の様子を聞くコミュニケーション 23
「給湯ガイド」を見る 24
沸き増しする 28
沸き上げモードを変える 30
● おまかせ節約・おまかせ
昼間沸き上げを停止する 31
設定を変える 32
● リモコン設定・メニュー・諸設定

お手入れと点検

お手入れする 38
● 浴そうフィルター・タンク・自動配管洗浄・洗浄運転
点検する 42
● 漏電しゃ断器・逃し弁・定期点検

必要なとき

一定期間使わないとき 44
● 沸き上げ休止・水抜き
タンクのお湯(水)を抜いたとき 46
凍結のおそれがあるとき 48
● ふろ凍結予防運転・凍結予防ヒーター
断水したとき・停電したとき 50
故障かな？ 52
こんな表示が出たら… 59
● OK モニター・サービス店 TEL 表示・機種情報
仕様 62
保証とアフターサービス 63
ご相談窓口 裏表紙

昼間も沸き上げるのはなぜ？ 30ページ

残湯量の表示が使ってないのに減る。 56ページ

安全上のご注意 必ずお守りください

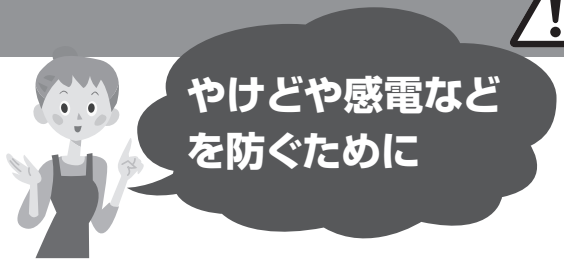
人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	⚠注意
「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

してはいけない内容（禁止事項）です。	実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠警告

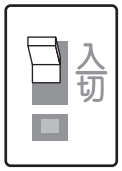


漏電しゃ断器は、ぬれた手で操作しない

禁止（感電の原因になります）

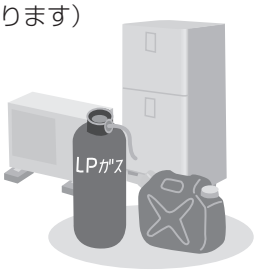
漏電しゃ断器は、作動することを定期的に確認する (P.42)

必ず守る（感電の原因になります）
作動しないときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。



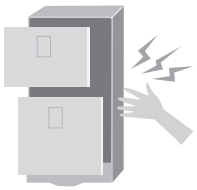
近くにガス類の容器や引火物を置かない

禁止（電気部品のスパークにより引火し、発火の原因になります）



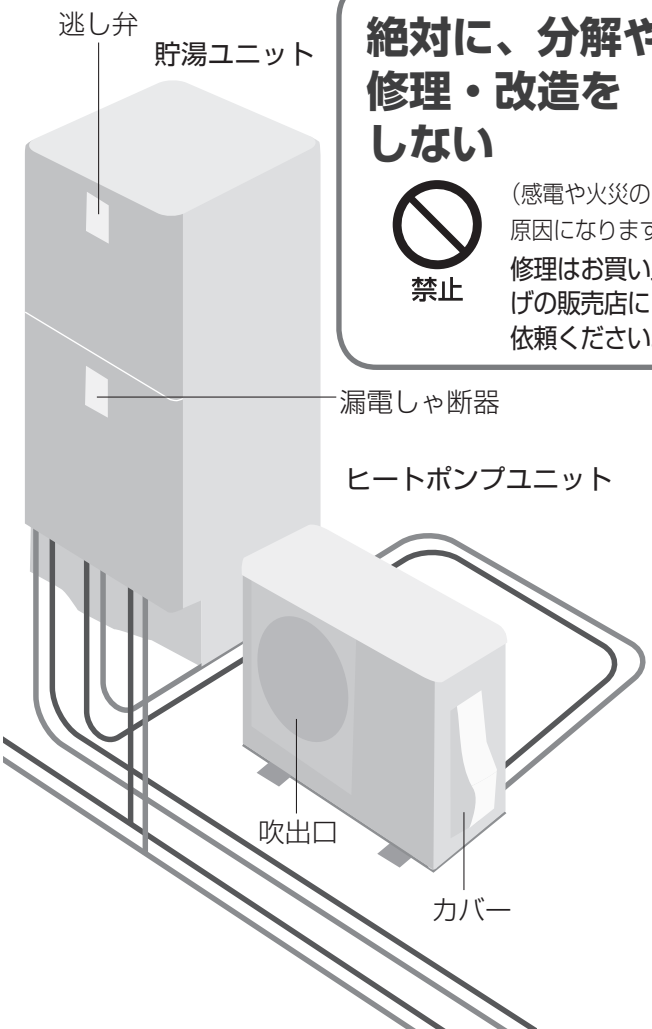
貯湯ユニットの前板やヒートポンプユニットのカバーを開けない

禁止（感電の原因になります）



絶対に、分解や修理・改造をしない

禁止（感電や火災の原因になります）
修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。



⚠警告

熱湯や熱くなる部分に触れない（やけどの原因になります）

禁止

- ●給湯時は、給湯栓本体に触れない。
- ●貯湯ユニットの排水時や逃し弁の点検時は、排水配管や排水口、逃し弁（レバー以外）に触れない。（P.39、42）
- ●ヒートポンプユニット配管や給湯配管（P.9）には触れない。
- ●逃し弁の点検時やヒートポンプユニットの水抜き時、非常用取水栓を使用時は、お湯に触れない。（P.45、51）

停電中および停電復旧後にお湯を使うときは、湯温を確かめる

必ず守る

（湯温調節ができずに、高温のお湯が出ることがあるため、やけどの原因になります）

ヒートポンプユニットは、誤った扱いをしない

禁止

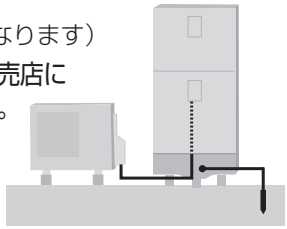
- ●吹出口に指や棒などを入れない。（ファンが高速回転しているため、けがの原因になります）
- ●上に乗ったり、物を載せたりしない。（ベランダなど高い所に設置している場合、落下や転倒によるけがの原因になります）

アース工事がされていることを確認する

アース線接続

（感電の原因になります）

お買い上げの販売店にご確認ください。



お湯を使うときは、お湯の温度を確認する

必ず守る

（やけどの原因になります）

- ●入浴時やシャワー使用時は、指先などで湯温を確かめる。
- ●給湯温度を変えるときは、他の人がお湯を使っていないことを確かめる。

使い始めは、しばらくお湯に触れない

禁止

（空気の混じった熱いお湯が飛び散ることがあるため、やけどの原因になります）

特に朝の使い始めは、ご注意ください。

入浴時には、次のことをしない

禁止

- ●循環口は、手足やタオルでふさいだり、体を近づけたりしない。（熱いお湯が出ることがあるため、やけどの原因になります）

特に高温たし湯のときは、ご注意ください。

- ●循環口のフィルターがゆるんだりはずれたりしたまま入浴しない。（髪の毛が吸い込まれ、事故の原因になります）

特にお子さまには、ご注意ください。

異常・故障時には直ちに使用を中止し、漏電しゃ断器を「切」にする

（発煙・発火、感電、やけどのおそれがあります）

必ず守る

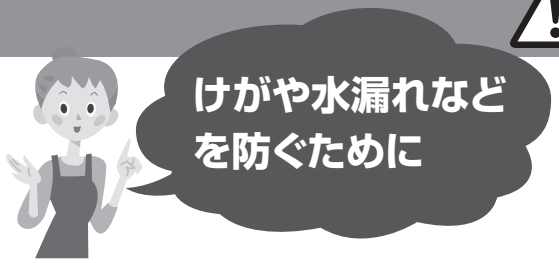
異常・故障例

- ●漏電しゃ断器が自動的に「切」になる。
- ●使用中に、こげくさい臭いがしたり異常な音や振動音がする。
- ●熱いお湯が出続ける。

すぐに、お買い上げの販売店へ点検・修理を依頼してください。

安全上のご注意 必ずお守りください

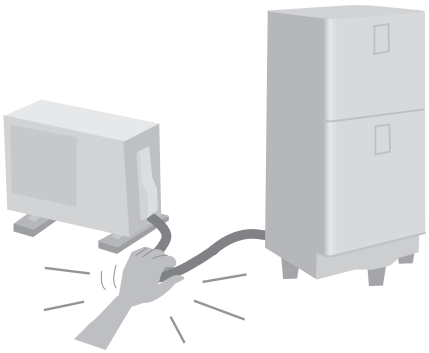
⚠注意



配管に無理な力を加えない

禁止

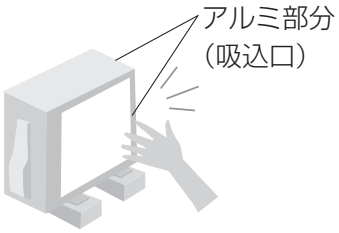
（破損によるやけどや水漏れの原因になります）



ヒートポンプユニットのアルミ部分に触れない

禁止

（手を切る原因になります）



ヒートポンプユニットの据付台が破損したまま放置しない

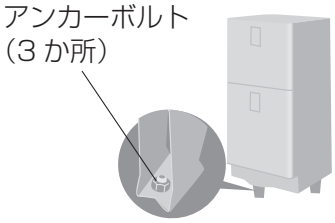
禁止

（落下や転倒による、けがの原因になります）

据え付け後は、次のことを確認する

必ず守る

●貯湯ユニットの脚が床面に固定されていること。（転倒によるけがの原因になります）
固定されていない場合は、お買い上げの販売店にご依頼ください。



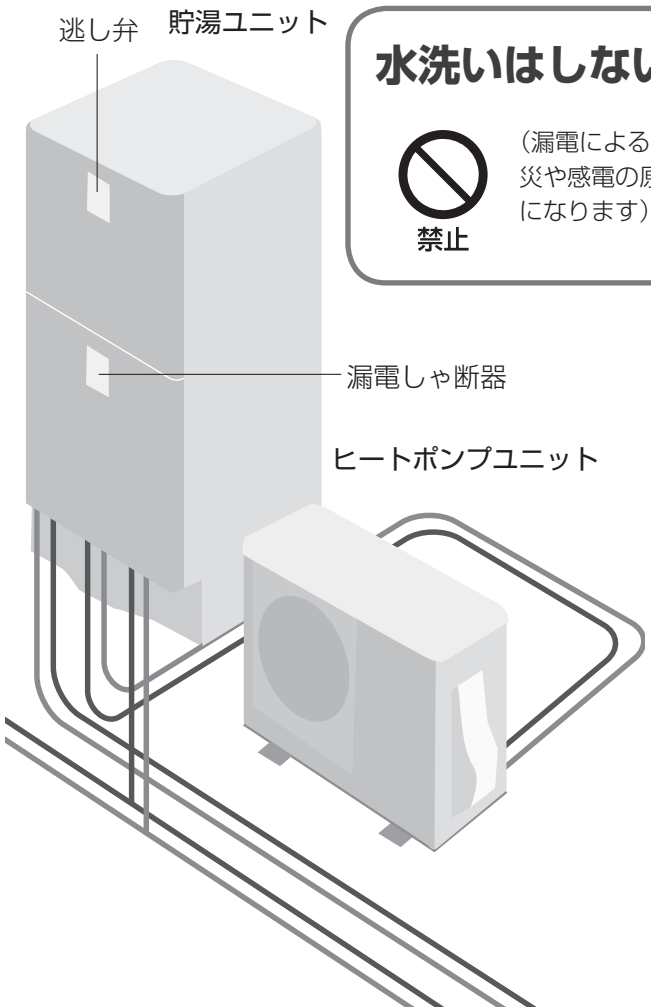
●貯湯ユニットが、防水処理・排水処理済みの床面に設置されていること。
（水漏れすると、階下などに被害を及ぼす原因になります）
お買い上げの販売店にご確認・ご依頼ください。

●配管が凍結予防工事済みであること。
（冬場など、凍って破損し、やけどや水漏れの原因になります）
お買い上げの販売店にご確認・ご依頼ください。

水洗いはしない

禁止

（漏電による火災や感電の原因になります）



⚠注意

お手入れ時や点検時は、次のことをする

必ず守る

●漏電しゃ断器を「切」にする。
（ヒートポンプユニットのファンが高速回転しているため、けがの原因になります）

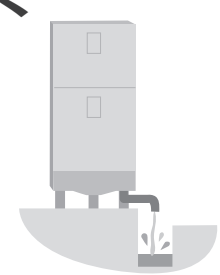
●お手入れや点検の後は、漏電しゃ断器と逃し弁のふたを閉じる。
（雨やごみが入ると、漏電や感電の原因になります）

●逃し弁が作動することを定期的に確認する。（P.42）
（逃し弁が正しく作動しないと、水漏れの原因になります）
作動しないときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。

長期間使わないときは、貯湯ユニット・ヒートポンプユニットの水を抜く

必ず守る

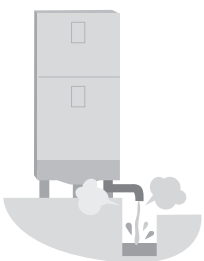
（P.45）
（水質変化により、飲用すると健康を害するおそれがあります）

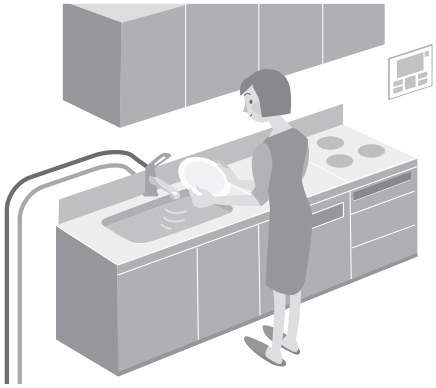


貯湯ユニットの水抜き時は、熱湯を直接排水しない

禁止

（やけどや排水配管の破損の原因になります）
給湯栓よりお湯を出しきってから排水してください。（P.45）





そのまま飲用しない

禁止

長期間のご使用によって貯湯ユニット内に水あかがたまったり、配管材料の劣化等によって水質が変わることがあります。飲用される場合は、下記の点に注意し、必ず一度、沸騰させてからにしてください。

●必ず水質基準に適合した水を使用してください。

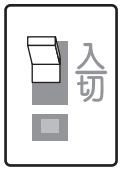
●熱いお湯が出てくるまでの水（配管内にたまっている水）は、雑用水としてお使いください。

固形物や変色、濁り、異臭があった場合には、飲用には使用せずに、直ちに点検の依頼を行ってください。

凍結のおそれがあるときは漏電しゃ断器を切らない

禁止

（配管などが凍結して破損することがあるため、水漏れの原因になります）
漏電しゃ断器を切るときは、水抜きをしてください。（P.45）



使用上のお願い

ご使用の前にご確認ください

タンクを満水にして空気抜きをし、水を沸き上げる必要があります。
●お買い上げの販売店（工事店）が実施していることをご確認ください。
●実施されていない場合は「タンクのお湯（水）を抜いたとき」（P.46）に従って準備してください。

リモコンに「試運転ナビ」が表示されるときは…
●お買い上げの販売店にご連絡ください。（試運転が未完了です）

湯切れすることがあります！

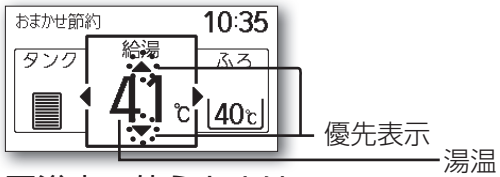
お湯の使用量が多いとき、長時間追いだきをしたときなど、お湯がなくなることがあります。
残湯量表示を確認しながらお使いください。

残湯量が
表示されます。

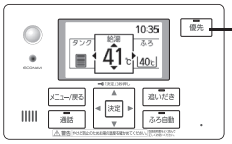
■湯切れを防ぐには…
→シャワーはこまめに止める。
→多くのお湯を使うとき、不足しそうなときは「沸き増し」しておく。（P.28）
→沸き上げモードを「おまかせ」にする。（P.30）

給湯温度の調節は、優先表示のリモコンで

優先表示の出ているリモコンで設定した温度は、台所と浴室の両方に反映されます。



■浴室で使うときは…
やけど防止のため、必ず



優先
を押してお使いください。

（優先を取り消すと台所リモコンで設定している温度に戻ります）

貯湯ユニットに、磁石（マグネット）を近づけないで！

お風呂への給湯ができなくなるなど、故障の原因になります。

混合水栓は…

湯温調節を低めに合わせてからお使いください。

浴そうなどが青くなるのは…

使用地域の水質や、給湯機の銅配管により薄青くなることがあります。これは、水中に溶け出たわずかな銅イオンと、石鹸などに含まれる脂肪酸とが反応したもので、人体に害はありません。
参考：（社）日本銅センター発行「銅と衛生」

■浴そうやタイルは…

→市販の浴室用洗剤（取れにくいときは、油汚れ専用洗剤）を使ってこまめに掃除する。

●強くこすると浴そうを傷つけ、傷の中に青い色が入り込み、落ちにくくなることがあります。
●ペーパータオルに原液を浸し、青い部分に貼り付けて、しばらく（数分～数十分）放置した後、ふき取ると効果的です。

■タオルは…

→ 70℃～80℃のお湯に、1割くらいの食酢を混ぜて浸しておく。

●くり返し行っていると、タオルが黄色味を帯びてくることがあります。そのときは繊維の表示に従い、漂白剤などをご使用ください。

こんな入浴剤は使わないで！

機器故障の原因となるため、複数の入浴剤は同時に使わないでください。また、次のものは使わないでください。

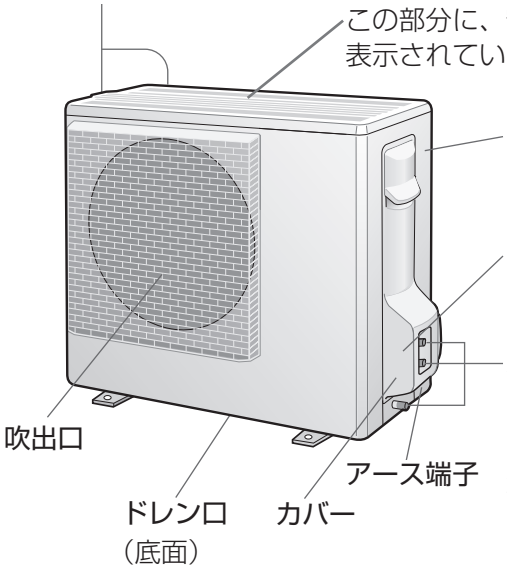
● 生薬（葉・茎など固形のもの）
● ミルク成分配合
● バスバブル、石鹸など
● 硫黄、酸、アルカリ、塩分を含んだもの
● とろみ系・発泡系のもの

注意書きをよく読み、影響のないことを確認してください。

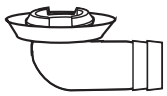
各部の名前と働き

ヒートポンプユニット・貯湯ユニット

ヒートポンプユニット



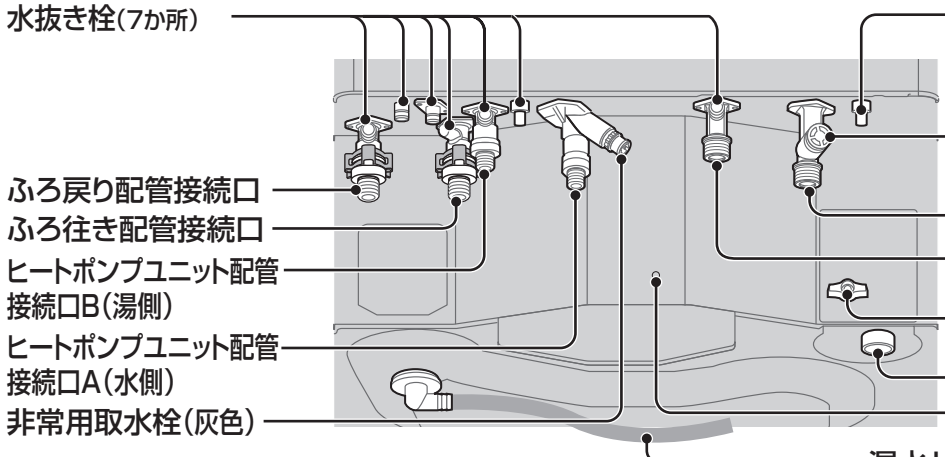
ドレンエルボ（付属品）



ドレン口に接続し、ドレン水を排水するとき使用します。

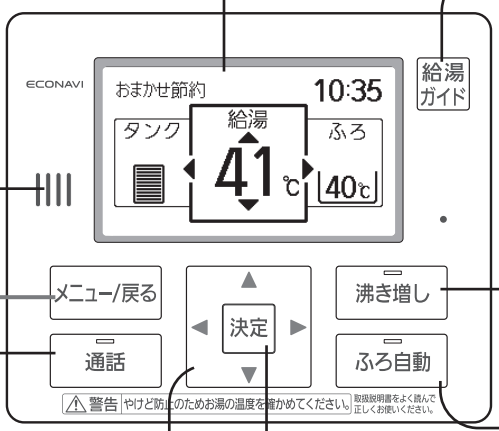
貯湯ユニット

●配管の接続口などを隠したいとき
脚部化粧カバー（別売品）を取り付けることができます。（P.38）



●図は説明のため、配管やホースを省略しています。

各部の名前と働き　台所・増設リモコン



画面表示部
●リモコンやお湯を使い始めてから約 1 分間は、バックライトが点灯します。（P.34）

給湯ガイドスイッチ
●給湯や使いかたの情報を表示します。（P.24）

スピーカー

沸き増しスイッチ
●すぐにタンクのお湯を沸かし始めます。（P.28）

ふろ自動スイッチ
●設定した湯量と温度で浴そうにお湯をはります。（P.16）

スイッチ操作の後に、操作手順や注意、確認などを音声でご案内します

コミュニケーションリモコンの場合
通話スイッチ
●浴室側と通話します。（P.22）

ボイスリモコンの場合
呼出スイッチ
●浴室側を音声で呼び出します。（P.22）

呼出

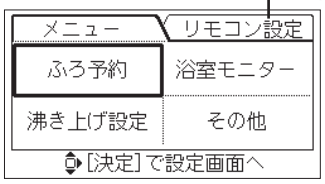
増設リモコンの場合
●通話、呼出の機能はありません。

決定スイッチ
●選んだ項目や設定を決定したり、開始や中止をします。

三角スイッチ
●湯温（P.14）や、設定内容を選ぶとき。
●画面の切り替えや項目を選ぶとき。

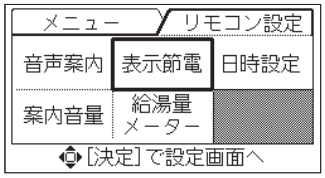
メニュースイッチ

メニュー 画面



（コミュニケーションリモコンの場合）

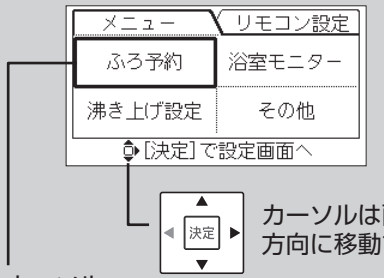
リモコン設定 画面



■項目の選びかた

1 メニュー/戻る を押す

2 三角スイッチで項目を選び 決定

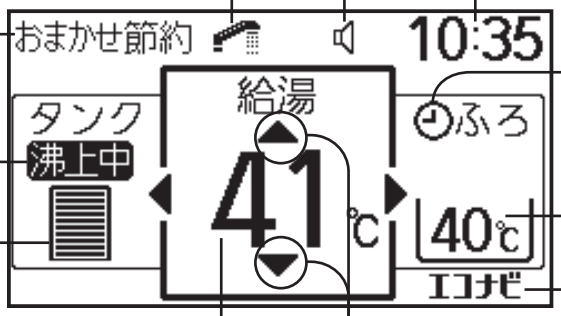


■ 1 つ前の画面に戻るとき

→ メニュー/戻る を押すたびに 1 つ前の画面に戻ります。

画面表示部

画面に表示される基本的な項目を記しています。



給湯中表示
●お湯を使っているときに表示します。（P.15）

浴室モニター中（P.23）
浴室モニター禁止中

現在時刻（P.32）

沸き上げモード（P.30）

ふろ予約待機中表示（P.18）

タンクの沸き上げ運転中

ふろの設定温度

残湯量表示
● 42℃で使えるお湯の量（目安）を表示します。日々の使用湯量を学習して湯量を全点灯表示しています。使えるお湯の量の確認は→（P.25）

全点灯 ←（10段階で表示）→ 少ない

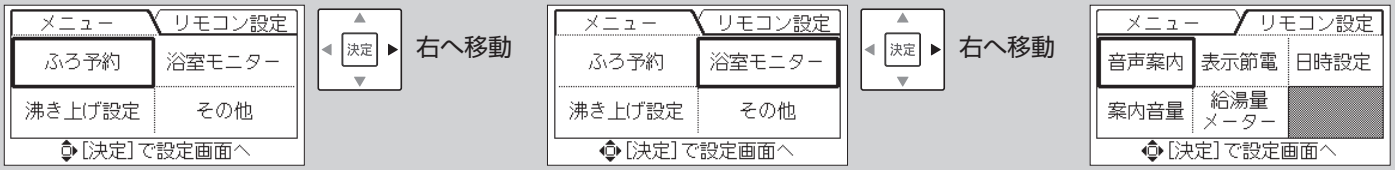
エコナビ保温中
●エコナビ保温中表示します。（P.19）

給湯の設定温度（P.14）

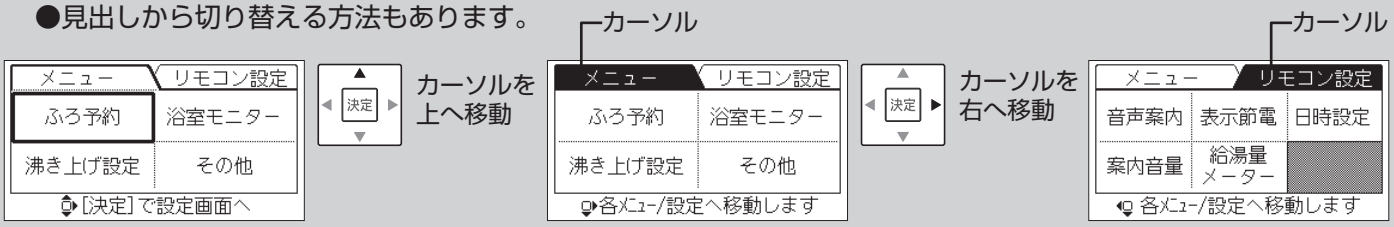
優先表示
●表示中のみ、台所リモコンで給湯温度が変えられます。（浴室リモコン「優先スイッチ」で切り替え）（P.14）

■画面の切り替えかた

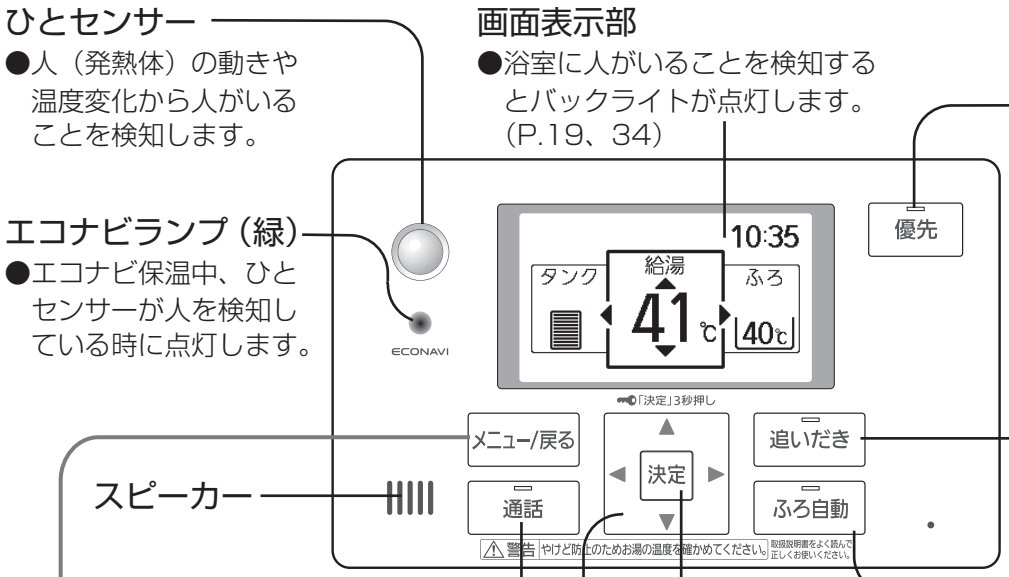
●三角スイッチ◀▶で画面が切り替わります。



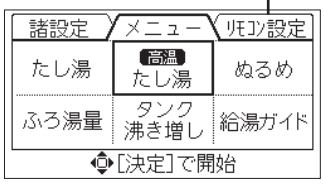
●見出しから切り替える方法もあります。



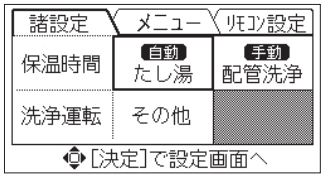
各部の名前と働き 浴室リモコン



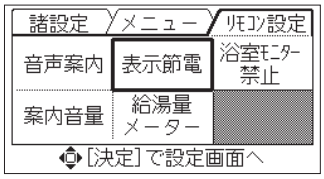
メニュー 画面



諸設定 画面



リモコン設定 画面

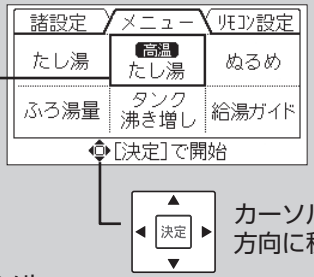


（コミュニケーションリモコンの場合）

■項目の選びかた

1 メニュー/戻る を押す

2 三角スイッチで項目を選び 決定

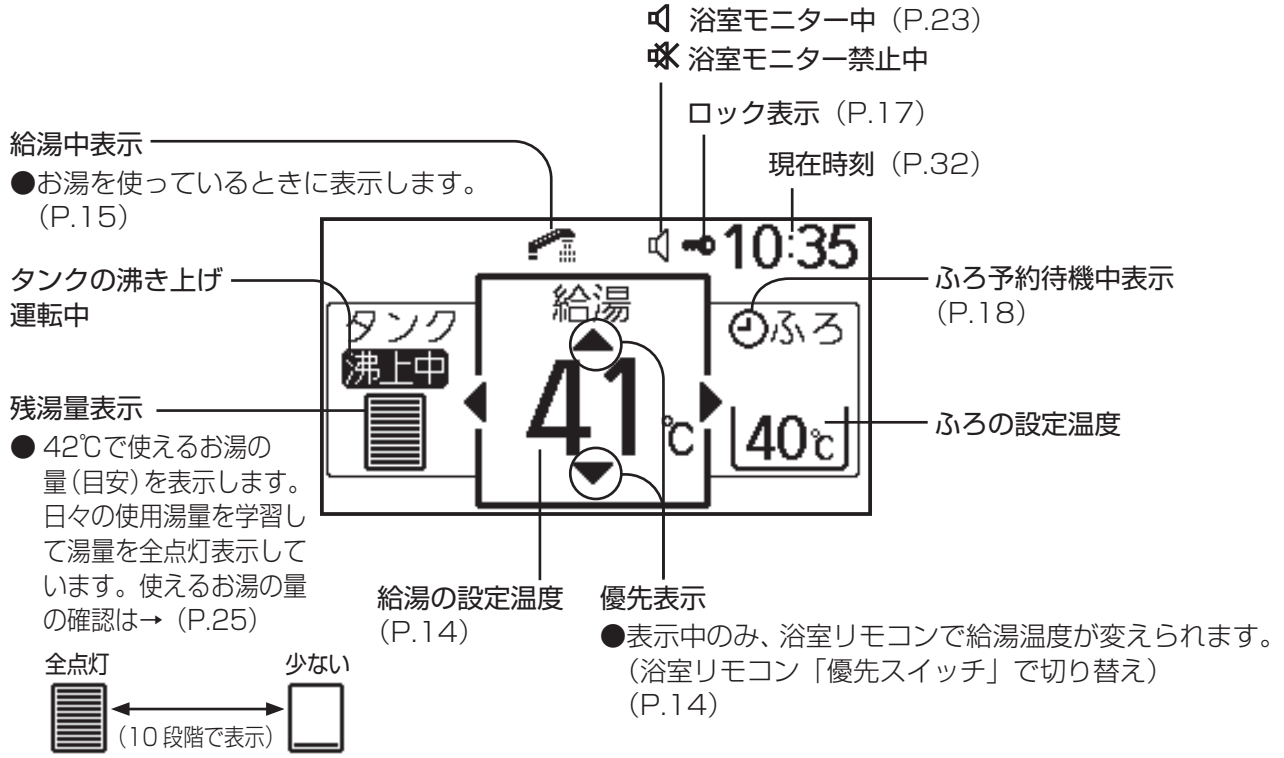


■ 1 つ前の画面に戻るとき

→ メニュー/戻る を押すたびに 1 つ前の画面に戻ります。

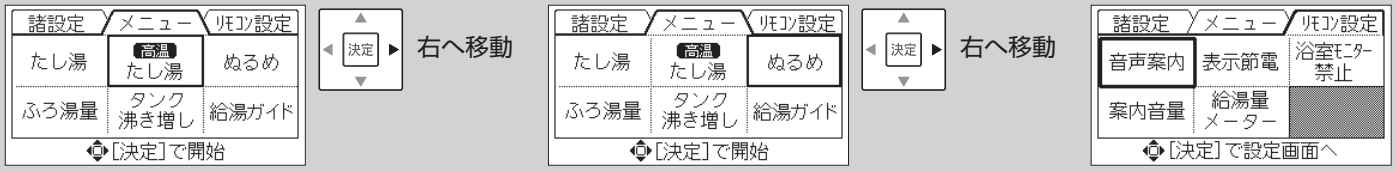
画面表示部

画面に表示される基本的な項目を記しています。



■画面の切り替えかた

●三角スイッチ◀▶で画面が切り替わります。

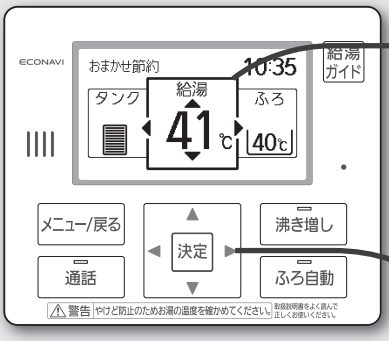


●見出しから切り替える方法もあります。

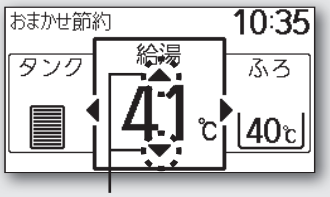
お湯を使う

台所や浴室などでお湯を使うための基本操作です。

台所リモコン

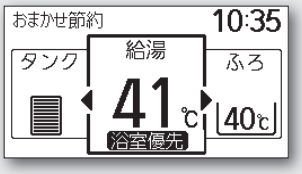


❶ 台所優先を確かめる

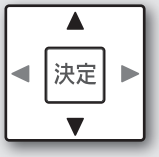


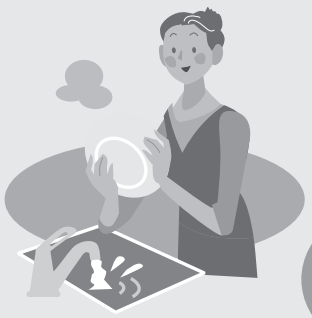
優先表示

● 浴室優先 を表示しているときは、浴室リモコンの「優先スイッチ」を押して、浴室優先を解除してください。台所で以前に設定していた温度に変わります。

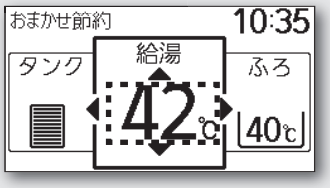


❷ ▲▼で湯温を選ぶ



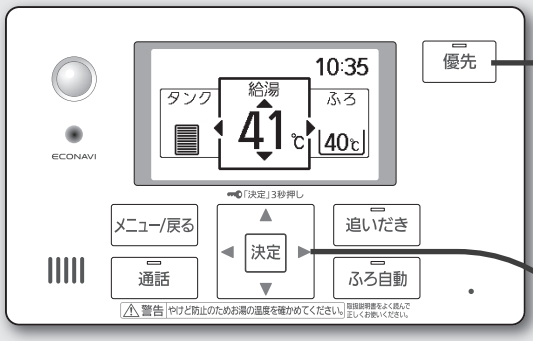


浴室リモコンでも同じ温度になります！

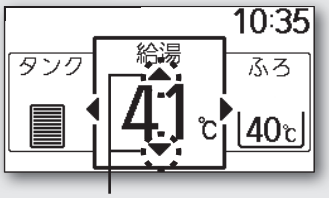


●水、32、35、38～47、50、55、60℃に変えられます。▲を押し続けると、45℃でいったん止まり、さらに押すと、46、47、50、55、60℃に変わります。

浴室リモコン



❶ 必ず浴室優先にする



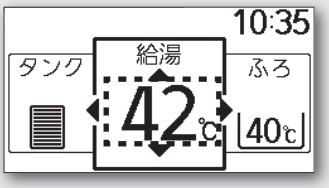
優先表示

●給湯温度の上下に▲▼が表示されていないときは、台所優先になっています。（台所で熱いお湯に変更されると、浴室でも熱いお湯が出ます）

●浴室優先にすると、浴室で以前に設定していた温度に変わります。

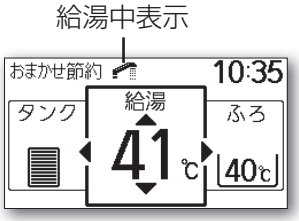
❷ ▲▼で湯温を選ぶ

台所リモコンでも同じ温度になります！



●水、32、35、38～47、50、55、60℃に変えられます。▲を押し続けると、45℃でいったん止まり、さらに押すと、46、47、50、55、60℃に変わります。

■「給湯中表示」について



台所や浴室でお湯を出しているときは、「給湯中表示」が出ます。

●少ししかお湯を出していないときは水になり、「給湯中表示」は出ません。

■給湯量メーターについて

お湯を使うと…

本日、使用した湯量を表示します。
（約 5 秒間）

お湯を止めると…

使用後の湯量を表示します。
（約 5 秒間）

●湯量は、42℃でお湯を使った場合の目安です。
（タンク容量以上の数値になる場合があります）

●混合水栓の水側から出た水量や、お風呂の追いだきや保温で使用した湯量は含みません。

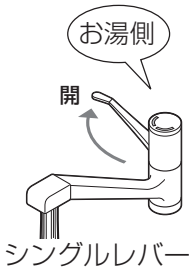
●給湯量メーターは 0 時 00 分から 23 時 59 分までに使用した数値です。（0 時 00 分に 0L になります）

●給湯量メーターを表示しないようにできます。（P.35）

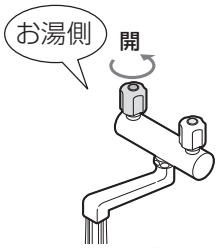
■混合水栓について

●お湯の出し方は混合水栓のタイプにより異なります。

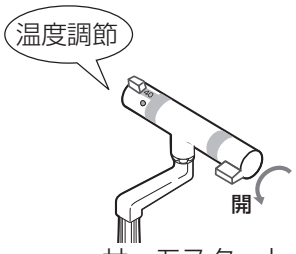
●浴室では、サーモスタットタイプ（自動温度調節機能付）の混合水栓を、お使いください。



シングルレバータイプ



2 バルブタイプ



サーモスタットタイプ

●給湯温度の表示は目安です。

●タンク内の湯温が低いときや配管の放熱により、設定温度にならないことがあります。

●断水中は、お湯が使えません。（水道水の圧力を利用して給湯しているため）

●シャワーを確実に止めずに、再びシャワーを出したときは、水になることがあります。

●沸き上げ中は、湯温が変動することがあります。

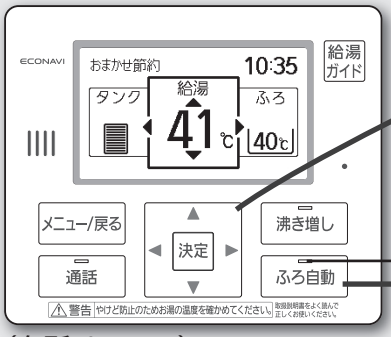
お願い

●サーモスタットタイプ（自動温度調節機能付）の混合水栓をご使用のときは、混合水栓で設定した温度にならないことがあります。リモコンの温度設定を 10℃以上高めにしてご使用ください。

お湯をはる　ふろ自動運転

浴そうを空にして、栓とふたをしてください。設定した温度と湯量で自動でお湯をはり、完了後は保温とたし湯を自動で行います。

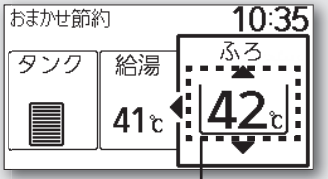
台所・浴室リモコン

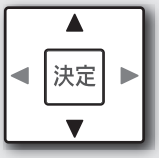


（台所リモコン）

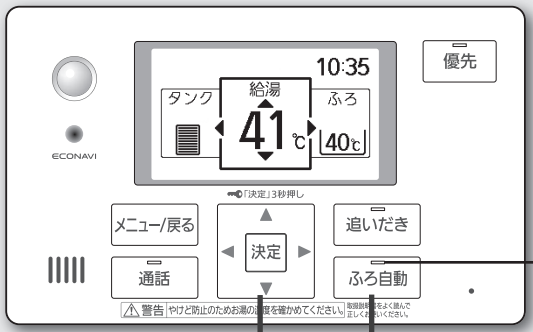
ふろ自動ランプ

1 ▶で「ふろ」を選び、▲▼でふろ温度を変える





（水、36～45、46・47・48℃）



（浴室リモコン）

ふろ自動ランプ

2 自動でお湯をはる

ふろ自動

浴室リモコンのふろ自動ランプも点灯します

●お湯はりの湯量は浴室リモコンで変えることができます。（P.17）

お風呂が沸きました

●エコナビ保温・自動たし湯が始まります。
エコナビ保温・自動たし湯が不要なときは、お湯はり完了後に ふろ自動 をもう一度押して「切」にしてください。（P.17）

●ふろ自動運転中のふろ温度の変更は、浴室リモコンで行ってください。

■中止するとき

→もう一度 ふろ自動

●ふろ温度、ふろ湯量の表示は目安です。
●次の場合は、正常なお湯はりができないことがあります。
・お湯はり完了前に入浴したとき。
・お湯はり中に、混合水栓やシャワーなどから浴そうに、お湯や水を足したとき。
・お湯はり中に、浴そうからお湯をくみ出したとき。
●ふろ自動運転中は、浴そうの循環口から、熱いお湯が出ることがあるため、離れてください。
●浴そうのお湯を排水するときは、必ずふろ自動運転を中止してください。お湯が自動で足されるため、ムダになります。（P.17）
●冬場など、外気温や水温が低いときは、お湯はり完了報知後も数分間、追いだきを行うことがあります。
●タンクの残湯量が少ないと、「タンク残り湯少」「ふろ自動待機中。」が表示され、残湯量が増えるまで待機します。
●断水中は、ふろ自動運転ができません。（水道水の圧力を利用して、お湯はりや保温をしているため）
●ふろ自動運転中はポンプが作動し、音がします。
●浴そうのお湯が冷めている場合は、お湯はりに時間がかかります。（P.59）

タンクのお湯の温度が低く、浴そうにお湯が残っているため、ふろ自動に1時間以上かかります。
開始→[決定]
中止→[ふろ自動]

（浴室リモコン）

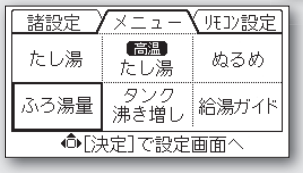
お湯はりの湯量を変える

ふろ湯量

自動でお湯をはるときの湯量を変更します。

1 メニュー/戻る を押して 決定 で操作

2 メニュー の ふろ湯量 を選び、決定



3 ▲▼で湯量を選び、決定

（20L きざみで
100L ～ 500L）

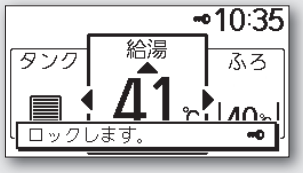
●ふろの最少湯量は、試運転時に循環口の位置に合わせて自動的に設定されます。循環口の位置が高かったり、浴そうが大きいときは、最少湯量の設定が 100L など少なめにできないことがあります。
（ふろ湯量の数値は目安です）

（浴室リモコンのみ）

誤操作を防止する（ロック設定）

浴室リモコンの誤操作を防止するためにロックできます。

1 決定 を３秒間押す



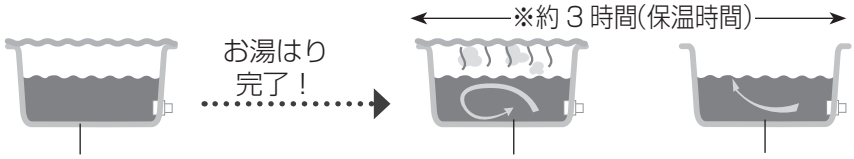
●ロック中でもふろ自動運転の中止や追いだきの中止、通話はできます。（P.16、20、22）
●停電したときロックは取り消されます。

■取り消すとき

→もう一度 決定 ３秒間押す。

■ふろ自動運転とは？

設定した温度、湯量でお湯をはり、完了後は保温とたし湯を自動で行います。



設定した温度と湯量で
お湯をはります。

お湯が冷めないよう
「エコナビ保温」

お湯が減ると
「自動たし湯」

※保温時間やたし湯の設定は変更できます。
（P.18、36）

お湯をはる　ふろ自動運転（つづき）

（台所リモコン）

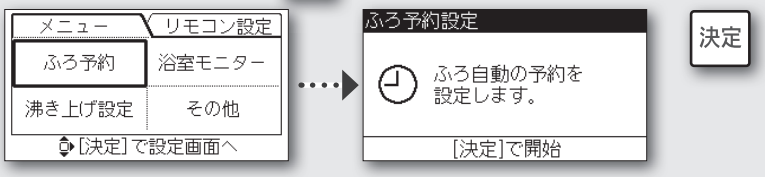
予約してお湯をはる

ふろ予約

お湯はりを完了させたい時刻を予約して、自動でお湯はりをします。

1 メニュー/戻る を押して 決定 で操作

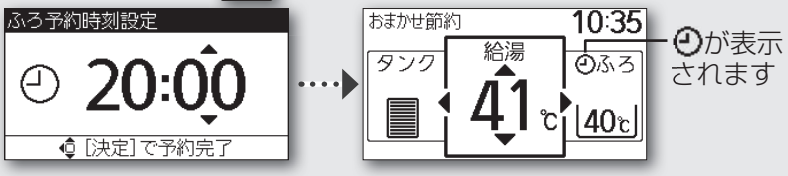
2 メニュー の ふろ予約 を選び、決定



3 ▲▼で「時」を合わせて、決定

▼▲を押し続けると早送りします。
予約完了した時刻は次回予約まで記憶されます。

4 ▲▼で「分」を合わせて、決定



■予約の確認と変更→手順２の後、「予約　確認／変更」を選び、決定する。

■予約の取り消し　→手順２の後、「予約　取消」を選び、決定する。

●お湯はり完了時刻は、浴そうに残り湯がある場合や水圧等の条件により、予約時刻から前後します。
●次に予約をするときは、再度ふろ予約をしてください。予約時刻は前回の設定を記憶しています。
●ふろ自動運転中に予約をすると、ふろ自動運転が停止します。
　ふろ予約中にふろ自動運転をすると、ふろ予約は取り消されます。

（浴室リモコン）

お湯はり後の保温時間を変える

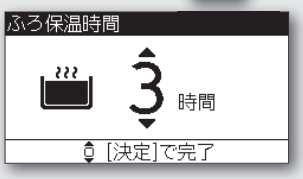
保温時間

お湯はり完了後のお風呂の保温時間を変えられます。

1 メニュー/戻る を押して 決定 で操作

2 諸設定 の 保温時間 を選び、決定

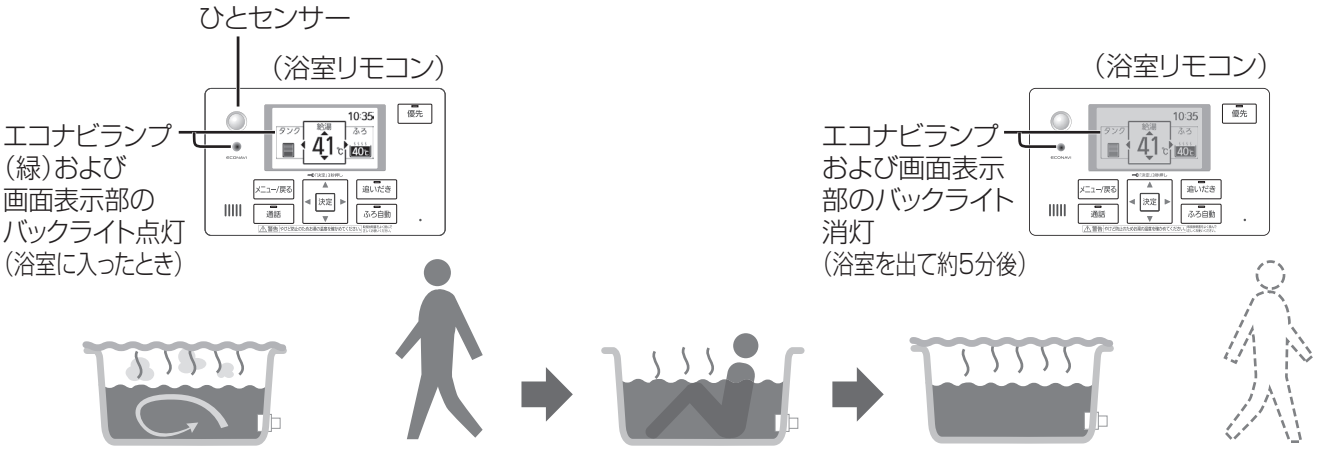
3 ▲▼で保温時間を選び、決定



●お買い上げ時は、３時間に設定されています。
●０～６時間まで設定できます。
●０時間にすると、お湯はり完了後、ふろ保温、自動たし湯を行いません。

■「エコナビ保温」とは？

ふろ自動運転中、ひとセンサーによって浴室内に人が「いる・いない」を検知して効率的な保温を行います。



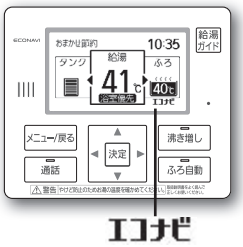
●浴室に人が入ったとき、ひとセンサーが人を検知して､すばやくお湯を温めます。（お湯が冷めていないときは、すぐには温めません）

●浴室内に人がいるときは、15 分ごとに湯温をチェックして設定したお湯の温度を保ちます。

●浴室内に人がいないときは保温間隔を長くします。保温間隔は浴そうの湯温の変化を学習して自動設定します。

●省エネ効果は、季節・浴室や浴そう、入浴間隔によって異なります。
●入浴が終われば、お湯が冷めないように浴そうのふたをしてください。
●エコナビ保温は、設定された保温時間内で行います。（P.18）
●台所リモコンでは、お湯はりが完了すると、「エコナビ」を表示します。（エコナビ保温中、人がいないときも表示します）

（台所リモコン）

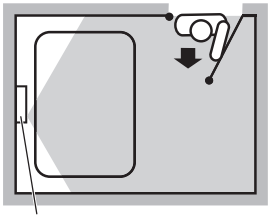


●エコナビ保温を中止するとき→「エコナビ設定」を「切」にする（P.37）

■ひとセンサーについて

●ひとセンサーは、人（発熱体）の動きや温度変化から、浴室内に人がいることを検知します。
ただし、次のような場合は、正しく検知されないことがあります。
・浴室暖房、ミストサウナなどを使用している。
・浴室内が 30℃以上になっている。
・センサーの表面が汚れている。
・人が動かないでじっとしている。（約 5 分以上）
●浴室に入ったとき、ひとセンサーが作動して浴室リモコンの画面表示部のバックライトが自動的に点灯することを確認してください。
（浴室リモコンの取り付け位置によっては、すぐに点灯しないことがあります）
●浴室から人が出て約 5 分経過すると、人がいないと判断し、浴室リモコンの画面表示部のバックライトを自動的に消灯します。（P.34）
●扉を開けたままにしておくと、浴室の外の人を検知することがあります。

センサー検知範囲



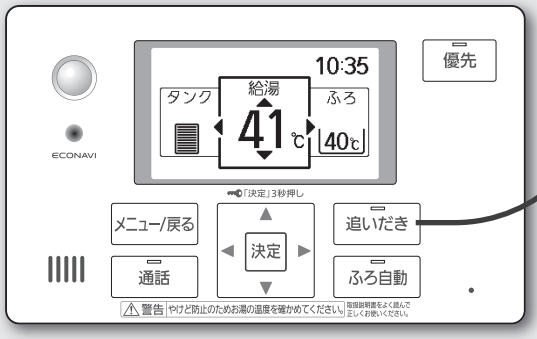
お願い

●ひとセンサー表面を強く押さないでください。（故障のおそれ）

追いだきする

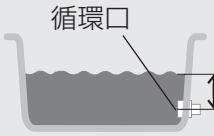
お湯はり後、浴そうのお湯を増やさず熱くすることができます。

浴室リモコン



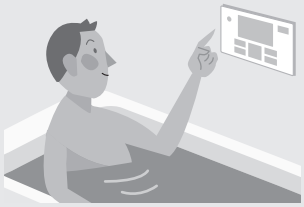
1 追いだきする

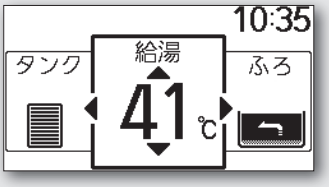
追いだき



循環口から
10cm 以上、
お湯が必要です。

●「タンク残り湯少、」「追いだき待機中。」を表示するときは「沸き増し」してください。(P.28)
表示が何度も出るとき
→(P.59)





●追いだき中は、循環口から離れてください。
熱いお湯が出てきます。
●初めは配管中のぬるいお湯や水が出ることがあります。
●追いだき完了後や中止後も、約 20 秒間お湯や水が出ます。

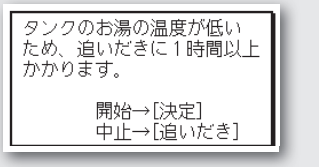
追いだきって、どのくらい熱くなる？

追いだきスイッチを押したとき、お湯の温度が…

●設定より低いとき
→設定温度まで熱く
(もっと熱くしたいときは、もう一度押してください)

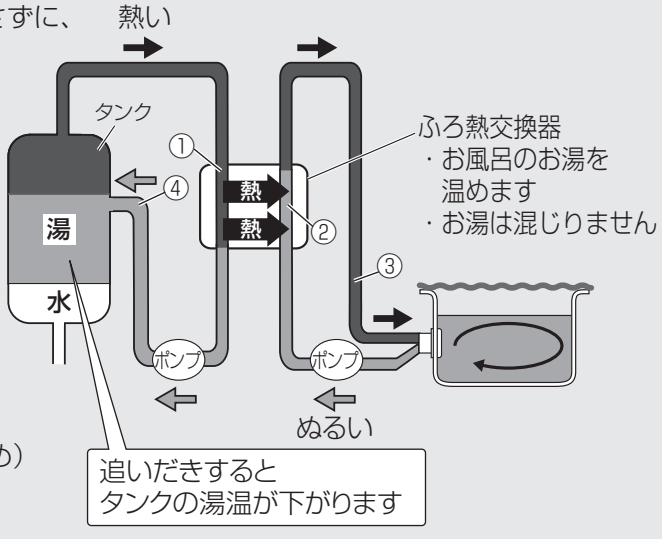
●設定どおり、または設定より高いとき
→設定温度より約 2℃熱く
(もっと熱くしたいときは、ふろ温度設定を上げてください)

■中止するとき
→もう一度 追いだき



●タンクや浴そうのお湯が冷めている場合は、追いだきに時間がかかります。(P.59)

●追いだきやお風呂の保温（P.17）は、新しいお湯を足さずに、タンクの熱いお湯で浴そうのぬるいお湯を温めます。
このため、タンク内の湯温が下がり、残湯量は減ります。
(右図：追いだき・保温のしくみ)
①タンクの熱いお湯をふろ熱交換器に送ります。
②ふろ熱交換器で浴そうのぬるいお湯に熱を伝えます。
お湯は混じりません。
③温かいお湯が浴そうに戻ります。
④ぬるくなったお湯はタンクに戻ります。
●追いだき中はポンプが作動し、音がします。
●断水中は、追いだきできません。
(水道水の圧力を利用して、お湯を循環しているため)



お湯や水を足す

お湯はり後、お湯や水を足して、湯量やお湯の温度を調節することができます。

（浴室リモコン）
お湯 / 水を足す

- たし湯
- 高温たし湯
- ぬるめ

1

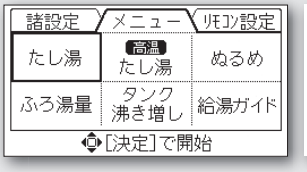
メニュー/戻る を押して ◀ 決定 ▶ で操作

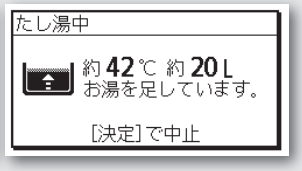
2

メニュー の たし湯 、高温たし湯 、ぬるめ を選び、決定

■たし湯

設定温度（P.16）のお湯を、約 20L 足します。

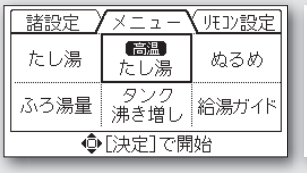




- たし湯完了後や中止後も、約10 秒間お湯が出る場合があります。
- 設定温度が「水」のときは、水を約 20L 足します。

■高温たし湯

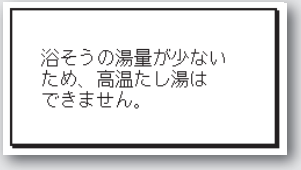
約 60℃のお湯を、約 20L 足します。



お風呂に熱いお湯が出ますご注意ください

⚠警告 禁止 **循環口に体を近づけない**
（やけどの原因になります）

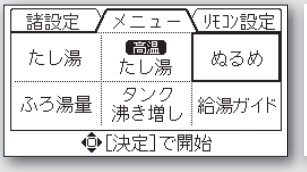
- 浴そうのお湯が少ない場合、お湯が出るまで 1 分間程度かかることがあります。

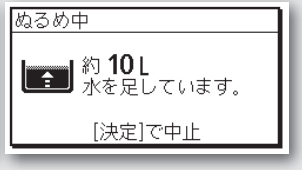


- 浴そうにお湯がない場合や循環口から 10ｃｍ以上、お湯がない場合は、高温たし湯できません。左の表示が出ます。
- 高温たし湯完了後や中止後も、約 20 秒間お湯が出る場合があります。
- タンク内の湯温が低いときは、60℃より低い温度のお湯が出ます。
- 停電復旧後は、浴そうのお湯の量が多くても高温のお湯が出るまで 1 分間程度必要です。

■ぬるめ

水を、約 10L 足します。





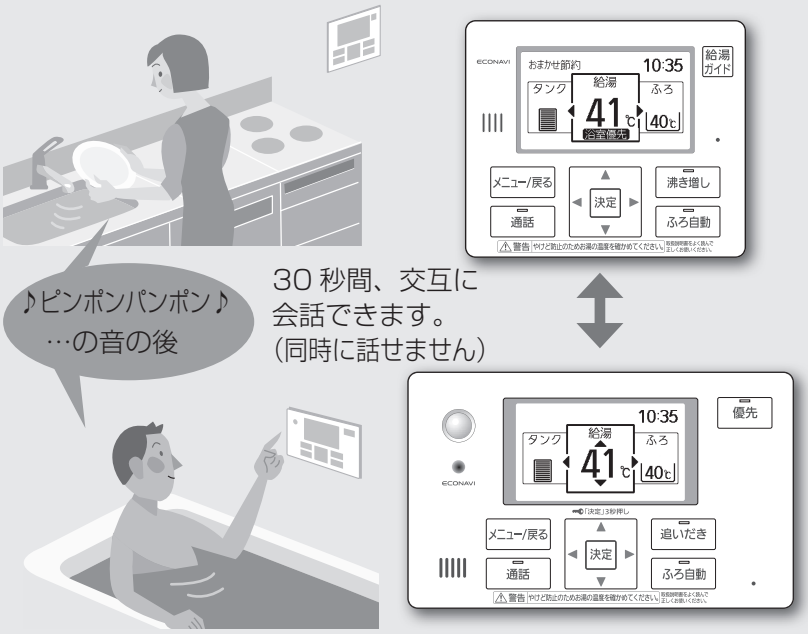
- ぬるめ完了後や中止後も、約 20 秒間水が出る場合があります。
- ふろ保温中のときは、ぬるめ完了後、約30分間はふろ保温を行いません。

■中止するとき→ 決定

通話する　コミュニケーションリモコンのみ

コミュニケーションリモコンでは、台所と浴室で、30 秒間交互に会話ができます。
ボイスリモコンでは会話はできません。

台所・浴室リモコン



❶ 通話を始める

通話

▲▼で音量を変えられます。

❷ 通話を終わる

通話

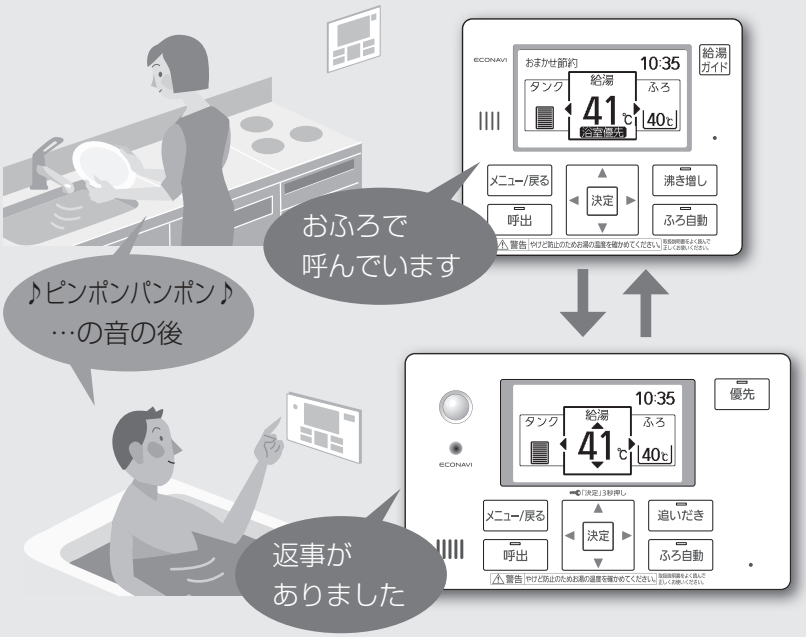
●約 30 秒後、自動的に通話は終了します。
（終了 5 秒前に、通話ランプ点滅）

●相手の話が終わってもシャワーやテレビなどの音が聞こえて通話ができないときは 通話 を押しながら話をしてください。
●声が途切れる、声が小さいなど、うまく通話ができないときは
1. 同時に話さない　2. リモコンに近づいて話す（30cm 以内）　3. シャワーは止めておく
4. ハウリング（キーンなどの大きな音）を起こす場合は音量を下げる…等をお試しください。
●リモコンから 20cm 以内に物を置かないでください。（通話が途切れることがあります）

呼び出す　ボイスリモコンのみ

ボイスリモコンでは、台所から浴室を、浴室から台所を音声で呼び出すことができます。

台所・浴室リモコン



❶ 浴室から呼び出す

（例）浴室から台所を呼び出す

呼出

●台所リモコンから「おふろで呼んでいます」と音声が流れます。

■台所で返事をするとき

呼出

●約 1 分以内（ランプ点灯中）に押すと、浴室リモコンから「返事がありました」と音声が流れます。

●台所からも同様に呼び出すことができます。

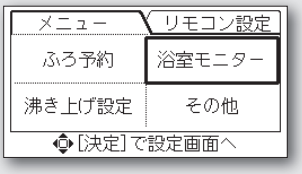
浴室の様子を聞く コミュニケーションリモコンのみ

（台所リモコン）
浴室の様子を聞く
浴室モニター

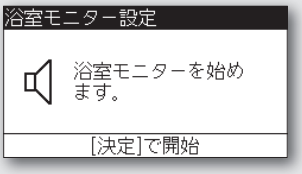
台所から浴室の音を聞いて様子を確認することができます。

1 メニュー/戻る を押して 決定 で操作

2 メニュー の 浴室モニター を選び、 決定



3 決定



- 台所と浴室のリモコンに が表示されます。
- 浴室モニター設定が禁止のときは が表示されます。
- 約 60 分後、自動的に終了します。

■中止するとき
→手順 2 の後、「浴室モニター停止」を選び、決定する。

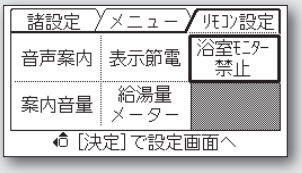
■音量を変えるとき
→手順 2 の後、「モニター音量変更」を選び、決定する。
▼▲で音量を変え、決定する。

（浴室リモコン）
浴室の様子を聞かれないようにする
浴室モニター禁止

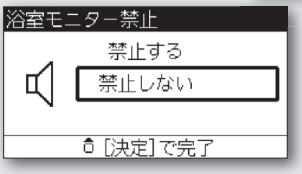
浴室の音を台所から聞かれないようにすることができます。

1 メニュー/戻る を押して 決定 で操作

2 リモコン設定 の 浴室モニター禁止 を選び、 決定



3 ▲▼で「禁止する」を選び、 決定



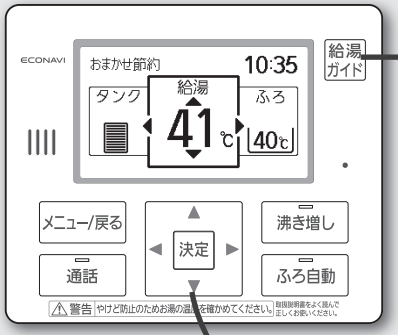
- 台所と浴室のリモコンに が表示されます。

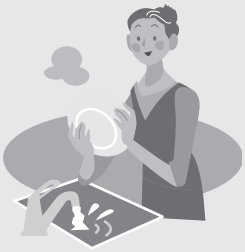
●モニター禁止中でも通話はできます。（P.22）

「給湯ガイド」を見る

給湯についての便利な情報や、使いかたのアドバイスなどを表示します。

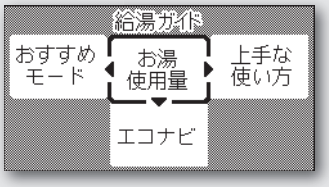
台所リモコン





1 給湯ガイドを表示する

給湯ガイド

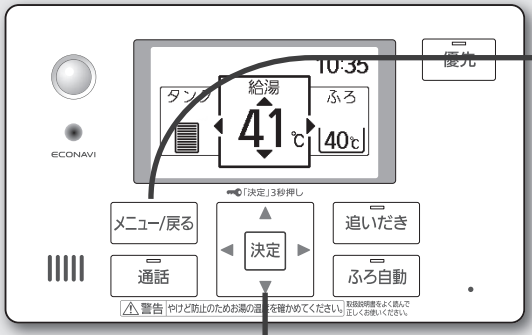


2 ▲▼◀▶で確認したいガイドを選び、決定

■ 1 つ前の画面に戻るとき

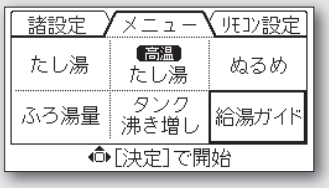
→ メニュー/戻る を押すたびに 1 つ前の画面に戻ります。

浴室リモコン

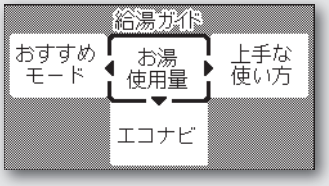


1 メニュー/戻る を押して 決定 で操作

2 メニュー の 給湯ガイド を選び、決定



3 ▲▼◀▶で確認したいガイドを選び、決定



■ 1 つ前の画面に戻るとき

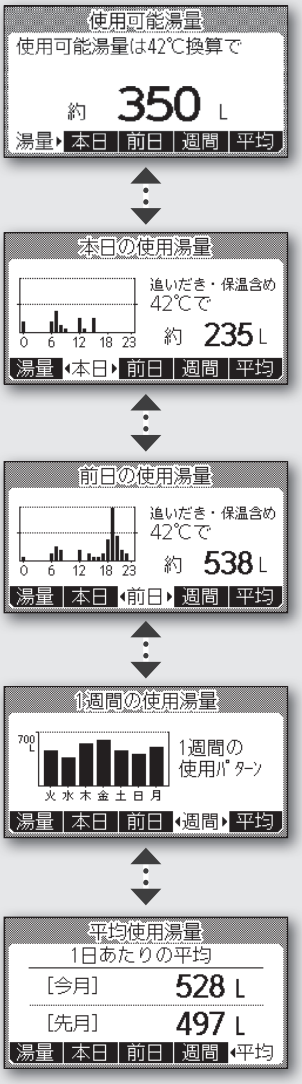
→ メニュー/戻る を押すたびに 1 つ前の画面に戻ります。

お湯使用量 使えるお湯の量・使ったお湯の量

使える湯量や使った湯量の目安を表示します。

1 給湯ガイドを表示させ、[お湯使用量]を選び、[決定]（P.24）

2 ◀▶で項目を選ぶ



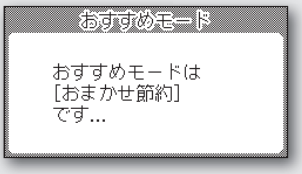
- 表示される数値は目安です。
- 使用可能湯量が多くても、ふろ自動や追いだきに時間のかかることがあります。（P.16、20）
- 使用湯量には、追いだきや保温にお湯を使った分も含まれます。
- 自動配管洗浄（P.40）や凍結予防（P.48）でもお湯を使います。
- 混合水栓の「水側」やお湯側でも湯温を「水」で使用した分、「ぬるめ」運転で使用した分は使用湯量に含まれません。
- 使用湯量は、0時00分から23時59分までの数値です。（0時00分に0Lになります）

●お湯の使用量は42℃に換算した湯量で表示します。このため、表示がタンクの容量を超える場合があります。

おすすめモード

日常のお湯の使用量を学習して、“我が家”に合った最適な沸き上げモードを表示します。

1 給湯ガイドを表示させ、[おすすめモード]を選び、[決定]（P.24）



- ガイドに従って沸き上げモードを設定できます。（P.30）

●使用開始から7日間は、「現在、学習中です…」と表示が出ます。学習が完了するまで、そのままお使いください。湯切れしそうな場合は、早めに沸き増しをしてお使いください。（P.28）

「給湯ガイド」を見る（つづき）

エコナビ

エコナビによるおふろの保温（追いだき）の節約回数を目安として表示します。

1 給湯ガイドを表示させ、[エコナビ]を選び、[決定]（P.24）

2 ◀▶で項目を選ぶ

●停電したときは、節約回数が少なく表示される場合があります。

●「週間」には昨日までの1週間の節約回数を表示します。

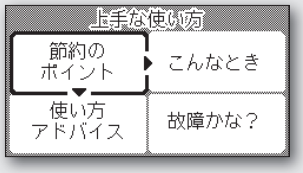
●累計表示には当日の節約回数を含みます。

上手な使いかた

節約のポイントやお手入れの方法など、よくあるお問い合わせの内容をリモコンで見ることができます。

1 給湯ガイドを表示させ、[上手な使い方]を選び、[決定]（P.24）

2 確認したい「上手な使いかた」を選び、[決定]



3 ◀▶で項目を選ぶ

■節約のポイント

(P.34)

■使いかたアドバイス

（P.38）

浴そうフィルターのお手入れ

こまめに水洗いしてください。追いだきが正しく動作しない原因になります。

1▸ 2 3 4 5

（P.8）

浴そうやタイルが青くなった

銅イオンによるものです。人体に害はありません。こまめにお掃除をしていただくと付着しにくくなります。

1 ◂2▸ 3 4 5

（P.15）

お湯の温度が低い

温度設定できる蛇口をお使いの場合は、リモコンの温度を高めに設定してください。

1 2 ◂3▸ 4 5

（P.31、35）

昼間の沸き上げを停止する

このあとお湯を使わないときは[昼間沸き上げなし]に設定することで、２３時までの沸き上げを停止できます。

1 2 3 ◂4▸ 5

（P.20）

追いだきに時間がかかる

おふろのお湯の温度が低いときは、追いだきするより、おふろのお湯をはりなおすほうがはやく入れます。

1 2 3 4 ◂5

■こんなとき

（P.50）

断水したとき①

給水元栓を閉じてください。復旧後、蛇口（水側）から透明になるまで水を出し、その後、給水元栓を開けてください。

1▸ 2 3 4 5 6 7 8

（P.51）

断水したとき②

タンクの水を生活用水に使用できます。取り出し方法はタンクの前面と取扱説明書に記載しています。飲用はさけてください。

1 ◂2▸ 3 4 5 6 7 8

（P.44）

一定期間使わないとき

1～15日間は、台所リモコンで沸き上げ休止が設定できます。1か月以上使わないときは取扱説明書をお読みください。

1 2 ◂3▸ 4 5 6 7 8

（P.50）

停電のとき

タンク内のお湯は使えます。高温のお湯が出ることがあるため、必ず湯温を確かめてご使用ください。

1 2 3 ◂4▸ 5 6 7 8

（P.48）

凍結のおそれがあるとき①

給水・給湯配管の凍結を予防するには、リモコンで湯温を「水」に設定し、給湯栓を少し開けておいてください。

1 2 3 4 ◂5▸ 6 7 8

（P.48）

凍結のおそれがあるとき②

お湯を浴そうの循環口より上に10㎝以上残してください。ふろ配管の凍結予防運転を自動で行います。

1 2 3 4 5 ◂6▸ 7 8

追いだきでピピーと鳴ったとき

タンクの残湯量が多いときは浴そうのお湯を抜いてふろ自動を行うと、追いだきよりはやくおふろに入れます。

1 2 3 4 5 6 ◂7▸ 8

（P.60）

H表示、F表示が出たとき

お買い上げの販売店へご連絡ください。

1 2 3 4 5 6 7 ◂8

■故障かな？

（P.40、48）

浴そうに勝手に湯・水が出る

凍結予防運転や、自動配管洗浄運転のためにお湯や水が出てくることがあります。

1▸ 2 3 4 5 6 7 8 9

（P.40）

自動配管洗浄をしない

浴そうの循環口付近までお湯が減っていると、すでに動作していることがあります。[配管洗浄完了]と表示します。

1 ◂2▸ 3 4 5 6 7 8 9

（P.38）

追いだきしても熱くならない①

浴そうﾌｨﾙﾀｰが目詰まりしていると、熱くなりません。こまめにお掃除してください。

1 2 ◂3▸ 4 5 6 7 8 9

（P.20、28）

追いだきしても熱くならない②

追いだきに使う熱いお湯が少なくなっています。前もってタンクの沸き増しをおすすめします。

1 2 3 ◂4▸ 5 6 7 8 9

（P.42）※

タンクや室外機から水が出る

沸き上げ中は、タンクの水が膨張し水が出ます。室外機からは結露水が出ます。

1 2 3 4 ◂5▸ 6 7 8 9

（P.30）

昼間に沸き上げる

タンクにお湯が残っていてもこのあと使うお湯を確保するために沸き上げることがあります。

1 2 3 4 5 ◂6▸ 7 8 9

（P.14）

水圧が低い

この給湯機は、水圧を一定に調節しています。ﾘﾓｺﾝで温度を高く設定し、蛇口で温度調節をして使用すると勢いが増します。

1 2 3 4 5 6 ◂7▸ 8 9

（P.15）

お湯を出したいのに水が出る

出湯量が少ないと水になります。左の表示が出るまで蛇口を開けてください。

1 2 3 4 5 6 7 ◂8▸ 9

（P.25）

使用湯量表示が実際と異なる

使用湯量は、42℃で換算しています。保温や追いだき、ふろ凍結予防などに利用したお湯も含みます。

1 2 3 4 5 6 7 8 ◂9

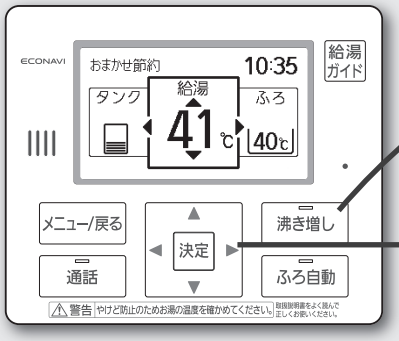
※ヒートポンプユニット（P.9）を「室外機」と表示します。

沸き増しする

タンクのお湯を手動で沸かすことができます。

台所リモコン

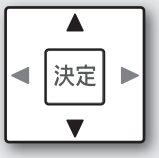
急な来客などで、ふだん以上にお湯を使うようなときは、手動でタンクのお湯を沸き増しできます。
すぐには沸き上がらないため、早めに沸き増しすることをおすすめします。



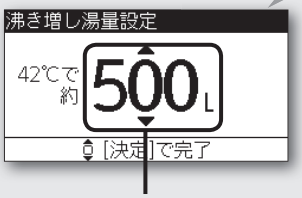
1 沸き増しする

沸き増し

2 沸き増し湯量を変更するときは、
湯量を選び、決定



100L沸き増しするのに約 1 時間かかります（条件により時間が長くなることがあります）



（100L、200L、300L、400L、500L、全量）

●沸き増し湯量は 42℃でお湯を使うときの目安です。

●お買い上げ時は、500L に設定されています。

●下記のお湯の使用量の目安を参考に設定してください。

●100L～500L 設定時は、設定湯量沸き増し後、自動解除します。
条件により設定した湯量まで沸き増しせず、自動解除することがあります。（P.55）

●「全量」設定時は、24 時間後、自動解除します。
条件によりタンクいっぱいまで沸かさず、沸き上げ停止することがあります。（P.55）

●沸き増し湯量を選択後、決定 が押されなかったときは、前回の設定湯量で沸き増しをします。

■中止するとき
→もう一度 沸き増し

■お湯の使用量の目安

●洗面と台所
約 20L ～ 30L/ 家族 1 人当たり

●シャワー
約 50L ～ 80L/ 回

●お湯はり
約 200L/ 回
浴そうの大きさや使いかたによって変わります。

お知らせ

次の場合でも、タンクのお湯を利用します。

●保温　約 40L ～ 60L/ 時間
（湯量 200L、ふたをしないで 1 時間に 2 人が入浴時）

●追いだき　約 60L ～ 90L/ 回
（湯量 200L、37℃から 42℃にしたとき）

（浴室リモコン）

沸き増しする

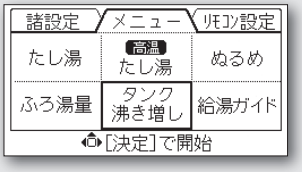
タンク沸き増し

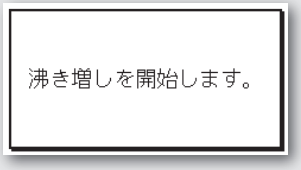
沸き増し中止

浴室リモコンでもタンクのお湯を沸き増しできます。

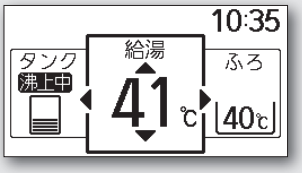
1 メニュー/戻る を押して 決定 で操作

2 メニュー の タンク沸き増し を選び、 決定





●沸き増し湯量は台所リモコンで設定した湯量になります。

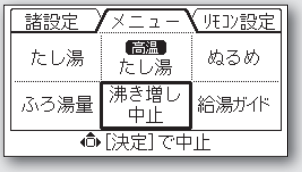


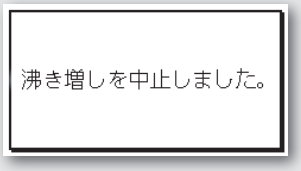
●沸き増し中は、台所リモコンの沸き増しスイッチのランプも点灯します。

浴室リモコンでタンク沸き増しをやめるとき。

1 メニュー/戻る を押して 決定 で操作

2 メニュー の 沸き増し中止 を選び、 決定





沸き上げモードを変える

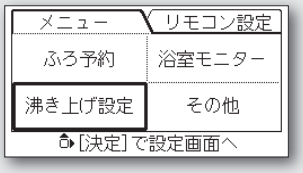
タンクのお湯の沸かしかたには「おまかせ節約」と「おまかせ」の２通りの沸き上げモードがあります。
お買い上げ時には、「おまかせ節約」に設定されています。

	お湯は、夜に沸かすのが基本	足りないときは昼間も沸かす
おまかせ節約	■省エネ推奨モード 実際に使ったお湯の量を学習し、“我が家”に合わせた最適なお湯の量を、自動で沸かします。 **夏場など、お湯の使用量が少ないとき、タンクいっぱいまで沸かさないことがあります。**	●お湯がなくなりそうになったとき。 ●夕方、お風呂などに使うお湯が足りないと予測したとき。（午後５時以降）
おまかせ	■「おまかせ節約」ではお湯が足りない場合 実際に使ったお湯の量を学習し、「おまかせ節約」より多めに、最適なお湯の量を自動で沸かします。	●１日に使うお湯が足りないと予測したとき。 ●お湯を一番使う時間帯に足りないと予測したとき。 ●お湯がなくなりそうになったとき。

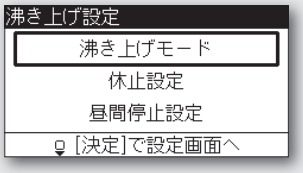
（台所リモコン）
沸き上げモードを変える
沸き上げモード

1 メニュー/戻る を押して 決定 で操作

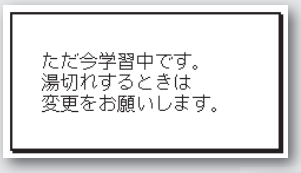
2 メニュー の 沸き上げ設定 を選び、 決定



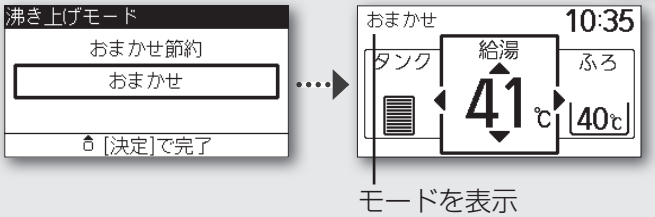
3 ▲▼で「沸き上げモード」を選び、 決定



●ご使用開始後７日間は、下記の表示が出ます。（「おまかせ節約」のみ）



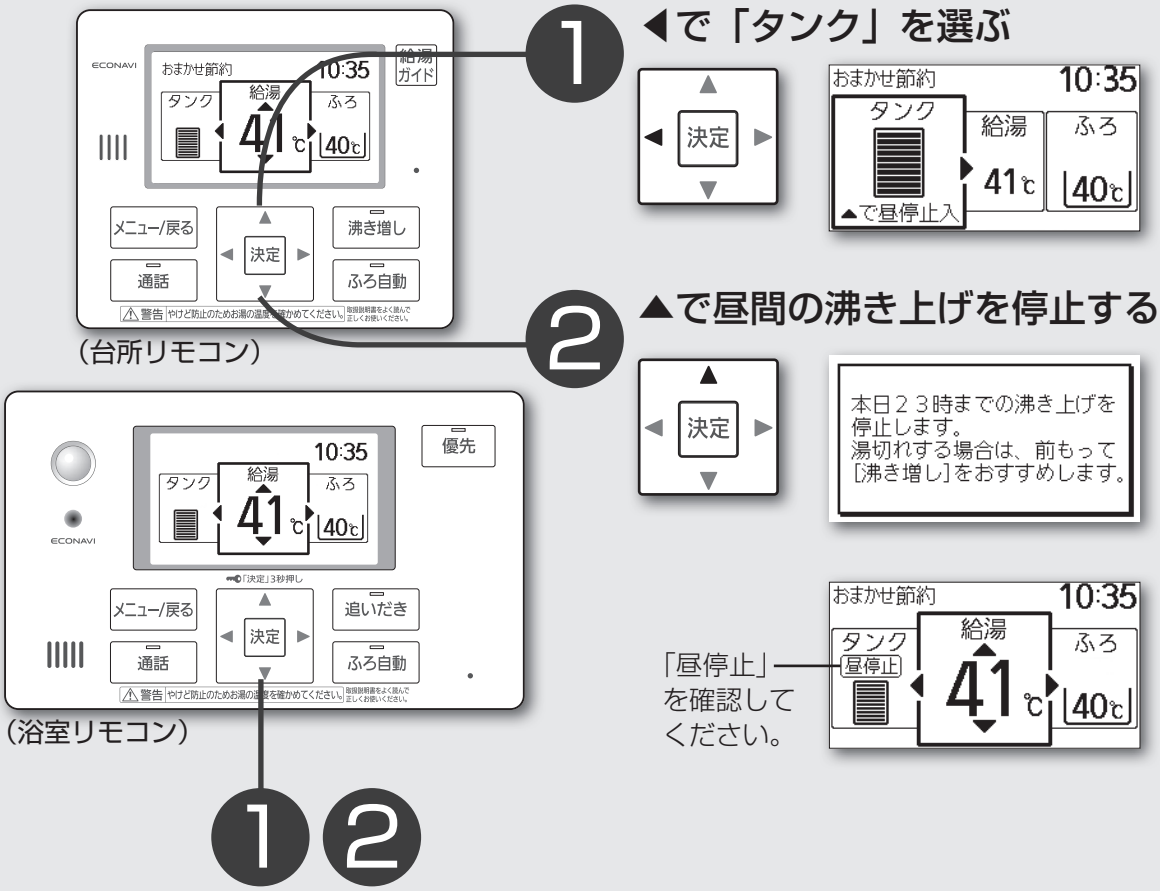
4 ▲▼で「おまかせ節約」または「おまかせ」を選び、 決定



昼間沸き上げを停止する

お湯があまりそうなときは、昼間の沸き上げを停止することができます。

台所・浴室リモコン



■「昼停止」を取り消すとき

→手順２で、▼で「昼停止切」を選び決定する。

●当日 23 時までの沸き上げを停止します。（23 時に自動解除します）
●昼間沸き上げ停止中でも、沸き増しはできます。（P.28）
　沸き増しが終了すると、「昼停止」に戻ります。
●次のときは「昼停止」の設定ができません。
　・沸き増しスイッチで沸き増し中
　・当日 23 時～翌朝 7 時
　・沸き上げ休止中（P.44）
●台所リモコンでは、メニューからも設定することができます。（P.35）

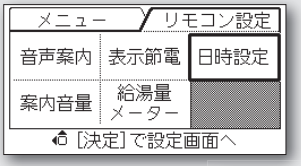
設定を変える　リモコン設定

（台所リモコン）
日時を合わせる
日時設定

時刻表示がずれているときは合わせてください。（思わぬ電気料金がかかることがあります）

1 メニュー/戻る を押して 決定 で操作

2 リモコン設定 の 日時設定 を選び、決定



3 ▲▼で「年」を合わせて、決定

4 ▲▼で「月」を合わせて、決定

5 ▲▼で「日」を合わせて、決定

6 ▲▼で「時」を合わせて、決定

夜の 12 時は「0:00」です。
▲または▼を押し続けると早送りできます。

7 ▲▼で「分」を合わせて、決定

▲または▼を押し続けると早送りできます。

●正しく日時を合わせても大幅にずれる場合は、お買い上げ先にご相談ください。
●設定した時刻は、浴室リモコンにも同時に反映されます。

（台所リモコン）

（浴室リモコン）

音声の設定を変える

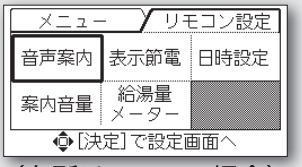
音声案内

案内音量

音声案内の設定を変えられます。

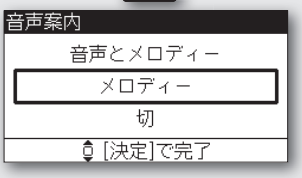
1 メニュー/戻る を押して 決定 で操作

2 リモコン設定 の 音声案内 を選び、 決定



（台所リモコンの場合）

3 ▲▼で設定を選び、 決定



※音声とメロディー：音声とメロディーで案内します。

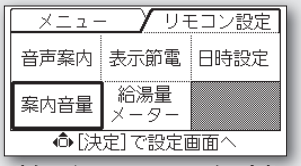
●メロディー　：メロディーのみで案内します。

●切　：音声案内しません。

案内の音量を変えることができます。

1 メニュー/戻る を押して 決定 で操作

2 リモコン設定 の 案内音量 を選び、 決定



（台所リモコンの場合）

3 ▲▼で設定を選び、 決定

●４段階に音量が変えられます。
（リモコンごとに設定できます）

※音量：2

※は、お買い上げ時の設定

設定を変える　リモコン設定　（つづき）

リモコンやお湯を使っていないときに、画面表示部のバックライトが消灯します。

（台所リモコン）

（浴室リモコン）

バックライトを消して節電する

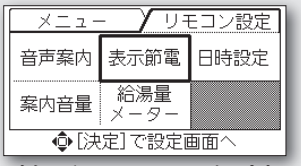
表示節電

1

メニュー/戻る を押して ◀ 決定 ▶ で操作

2

リモコン設定 の 表示節電 を選び、 決定

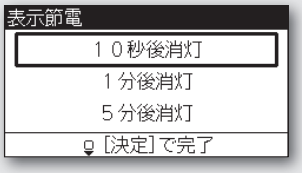


（台所リモコンの場合）

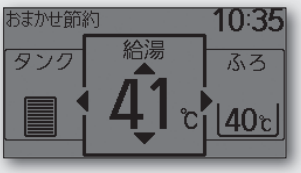
3

▲▼で設定を選び、 決定

■台所リモコンの場合

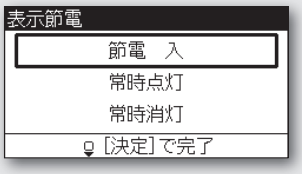


- １０秒後消灯
- ※　１分後消灯
- ５分後消灯
- １５分後消灯
- ３０分後消灯
- 常時点灯
- 常時消灯

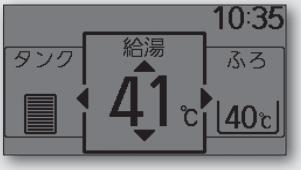


●設定した時間が過ぎると画面表示部のバックライトが消灯します。

■浴室リモコンの場合



※節電　入
●常時点灯
●常時消灯



●節電入のとき、浴室から人が出て約５分経過すると、画面表示部のバックライトが消灯します。（P.19）

●常時消灯時でも、50℃以上で給湯する場合は、安全のためバックライトが点灯します。

●画面表示部で「タンク」「ふろ」の画面を選んでいるときは、バックライトの自動消灯はしません。

※は、お買い上げ時の設定

給湯表示の設定を変える

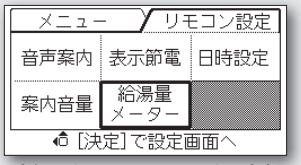
給湯量メーター

（台所リモコン）
（浴室リモコン）

給湯量メーターを表示させない設定に変えられます。

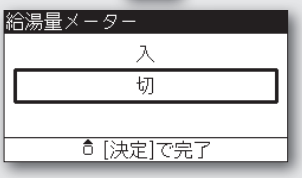
1 メニュー/戻る を押して 決定 で操作

2 リモコン設定 の 給湯量メーター を選び、決定



（台所リモコンの場合）

3 ▲▼で設定を選び、決定



※入：給湯栓の開閉時に、当日の使用湯量を表示します。
●切：表示しません。

●給湯量メーターを「入」にしていても、通話中は表示しません。

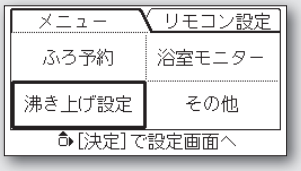
昼間沸き上げを停止する

昼間停止設定

（台所リモコン）

1 メニュー/戻る を押して 決定 で操作

2 メニュー の 沸き上げ設定 を選び、決定



3 ▲▼で「昼間停止設定」を選び、決定
「昼間沸き上げなし」を選び、決定

●当日 23 時までの沸き上げを停止します。（23 時に自動解除します）
●昼間沸き上げ停止中でも、沸き増しはできます。（P.28）
沸き増しが終了すると、「昼停止」に戻ります。

■中止するとき
→手順 3 で、「昼間停止設定」を選び、決定する。
「昼間沸き上げあり」を選び、決定する。

※は、お買い上げ時の設定

設定を変える　諸設定

ふろ自動運転（P.16）の設定など、ふろ機能に関する設定を変えられます。

（浴室リモコン）

たし湯の設定を変える

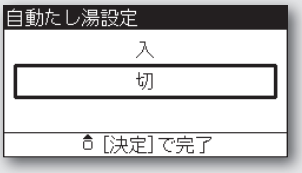
自動たし湯設定

1 メニュー/戻る を押して 決定 で操作

2 諸設定 の 自動たし湯 を選び、 決定

3 ▲▼で設定を選び、 決定

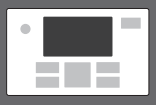
■お湯はり後の自動たし湯をやめるとき「切」を選ぶ



※入：お湯はり後、自動でたし湯します。（ふろ保温中）

●切：自動でたし湯しません。お湯はり後、「保温のみ」が表示されます。

●ジェットバスなどの気泡ぶろのご使用で、水位が検知されにくい場合は自動たし湯の設定を「切」にしてお使いください。



（浴室リモコン）

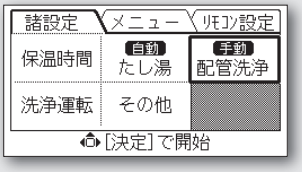
手動で配管洗浄する

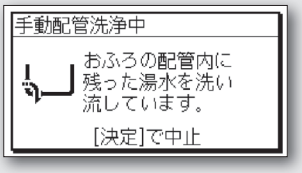
手動配管洗浄

設定温度のお湯を約 10L 流し、ふろ配管に残った湯水を洗い流します。
浴そうにお湯がないときに行ってください。

1 メニュー/戻る を押して 決定 で操作

2 諸設定 の 手動配管洗浄 を選び、 決定





■中止するとき→ 決定

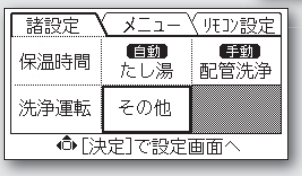
※は、お買い上げ時の設定

（浴室リモコン）
エコナビなどの設定を変える

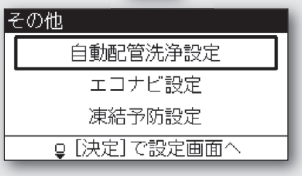
自動配管洗浄設定
エコナビ設定
凍結予防設定

1 メニュー/戻る を押して ◀ 決定 ▶ で操作

2 諸設定 の その他 を選び、 決定

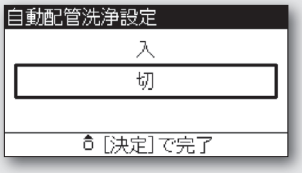


3 ▲▼で設定を選び、 決定



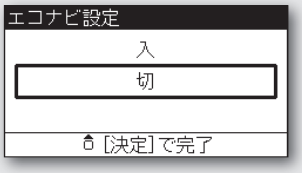
●自動配管洗浄設定
●エコナビ設定
●凍結予防設定

■自動配管洗浄（P.40）設定をやめるとき
「自動配管洗浄設定」・「切」の順に選び、決定



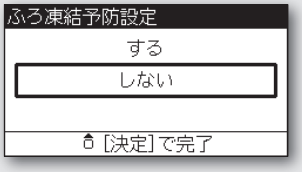
※入：浴そうの排水後に、自動で配管洗浄を行います。
●切：行いません。

■エコナビ（エコナビ保温 P.19）設定をやめるとき
「エコナビ設定」・「切」の順に選び、決定



※入：人がいないとき、浴そうの湯温変化を学習して最適な間隔で保温します。
●切：15 分ごとに湯温チェックを行い保温します。

■ふろ配管の凍結予防運転（P.48）をやめるとき
「凍結予防設定」・「しない」の順に選び、決定



※す る ：自動でふろ凍結予防運転を行います。
●しない：“しない”に設定しても貯湯ユニットが凍結する温度になると、ポンプが作動することがあります。

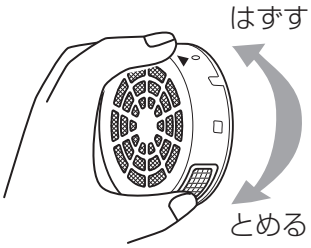
●「凍結予防設定」を選んだときの画面は
ふろ凍結予防設定 と表示されます。

※は、お買い上げ時の設定

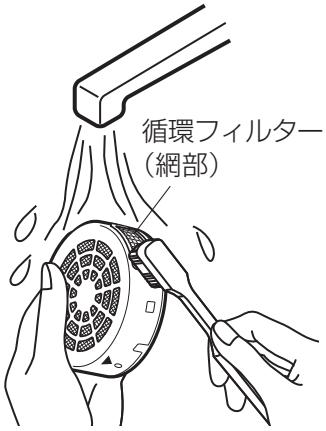
お手入れする

浴そうフィルター（日常）

■取りはずして水洗いする

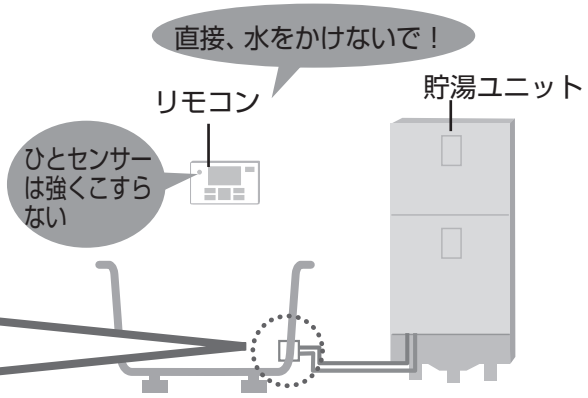


●浴そうフィルターは、左に回すとはずれます。
●取り付けるときは、▲印を合わせ、右に止まるまで回して取り付けてください。



●側面や内側も水をかけながら洗ってください。
●特に、循環フィルターの表面と内面は、歯ブラシなどでこまめに洗ってください。
目づまりすると、追いだきをしてもお湯が熱くなりません。

■からぶきまたは水ぶきする



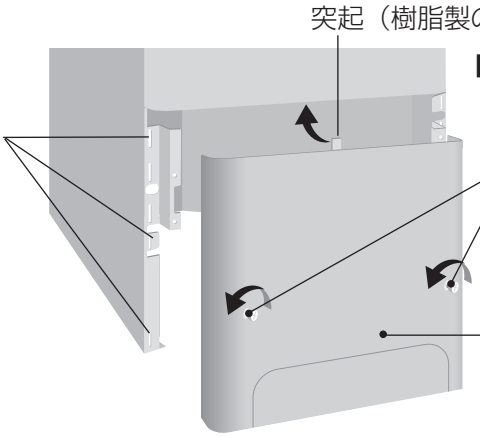
●ひどい汚れは台所用（中性）洗剤をうすめて布に含ませ、ふいてください。
●ベンジン、シンナーなどの溶剤は使わないでください。（変形・変色の原因となります）

■ 脚部化粧カバー（別売品）を取り付けている場合

●お手入れや点検、水抜きをするとき（P.45）などは前カバーをはずさないとできない場合があります。次の要領で前カバーを取りはずしてから行ってください。

■取り付けは

前カバー上部の突起を本体に差し込み、左右の穴（各 3 か所）に前カバーのツメを合わせてネジ止めする。
（前カバーが金属製の場合、突起はありません）



■取りはずしは

ネジ（左右各 1 本）をゆるめて、前カバーを手前に引く。

タンク（貯湯ユニット内）（年に２～３回）

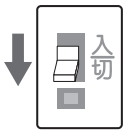
■排水して、底の湯あかを押し流す

●残湯量の表示目盛りが１つ以上減っているときに行ってください。（リモコン表示 ）
（表示目盛りが全点灯のときは排水しないでください）

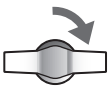
●脚部化粧カバー（別売品）を取り付けている場合は、前カバーを取りはずしてから行ってください。（P.38）

●給水元栓の取付位置は、配管工事により異なる場合があります。絵の位置にない場合は、お買い上げ先にご確認ください。

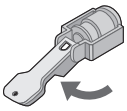
1 漏電しゃ断器を「切」にする



2 給水元栓※を閉じる



3 逃し弁レバーを上げる



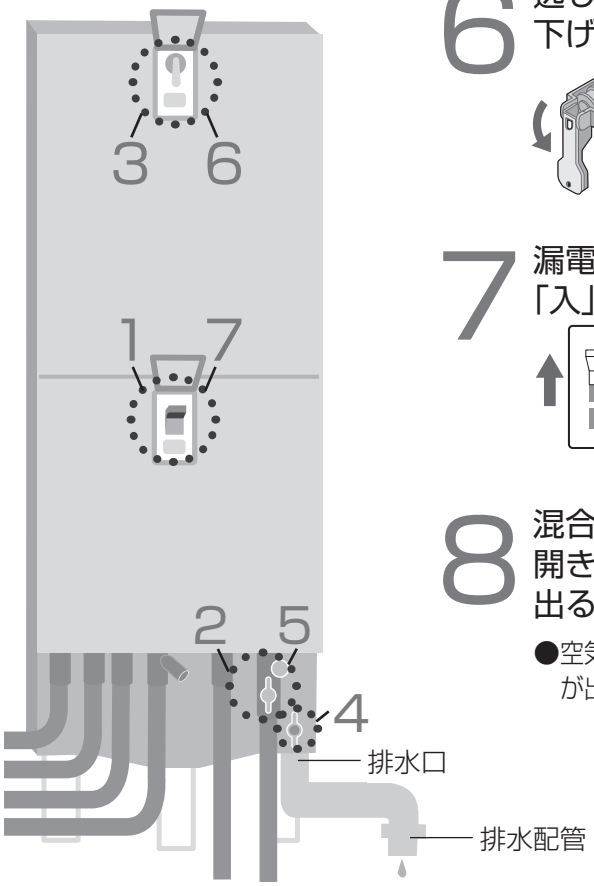
4 排水栓を開き、約２分間排水後、閉じる

●熱いお湯が出ることがあります。

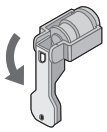
●排水中は逃し弁レバーを下げないでください。

5 給水元栓※を開けて、タンクを満水にする

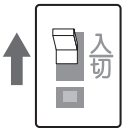
（排水配管から水が出始めたら満水）



6 逃し弁レバーを下げる

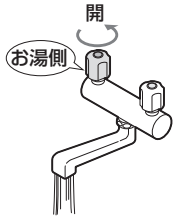


7 漏電しゃ断器を「入」にする



8 混合水栓のお湯側を開き、水（お湯）が出ることを確認する

●空気の混じった水（お湯）が出ることがあります。



※給水元栓が図の位置に取り付けられていない場合はお買い上げ先にご確認ください。
（配管工事により、取付位置が異なる場合があります）

お手入れする（つづき）

ふろ配管（自動配管洗浄）

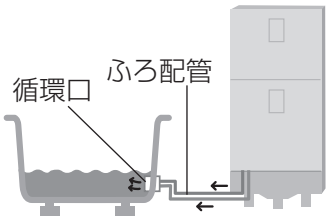
■自動配管洗浄（浴そうのお湯を排水するたびに）

ふろ自動運転の後に、浴そうのお湯を排水すると、ふろ配管に残った湯水を流して自動洗浄します。

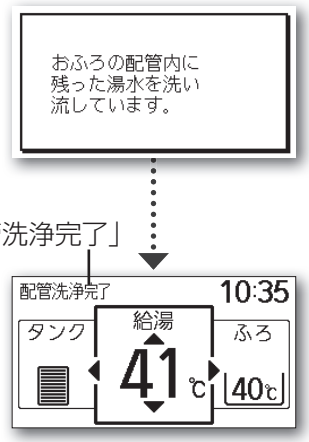
●循環口の上付近までお湯が減ると、約 2 分後に約 10L のお湯を流して自動洗浄します。

●お買い上げ時、「自動配管洗浄設定」は「入」になっています。「自動配管洗浄設定」を「切」にしたいときは（P.37）。

●浴そうのお湯を排水するときは、必ずふろ自動運転を中止してください。お湯が自動で足されるため、ムダになります。ふろ自動運転中に排水したとき、混合水栓からお湯はりを行ったとき、停電復旧後は、自動配管洗浄しません。



（浴室リモコンの表示）



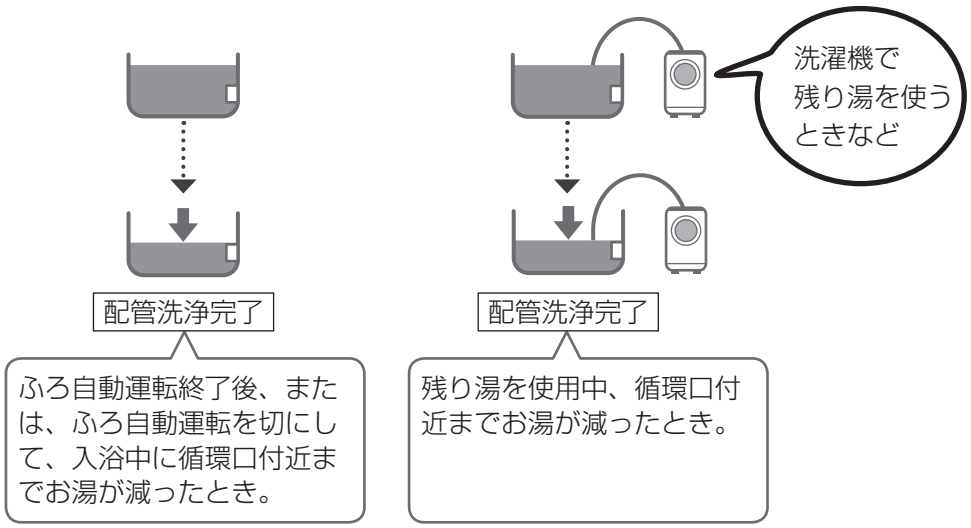
■自動配管洗浄が完了すると…

●自動配管洗浄が完了すると「配管洗浄完了」を表示します。

●「配管洗浄完了」表示は 24 時間後、自動的に消えます。
ふろ自動運転・追いだき・高温たし湯・たし湯・ぬるめ・洗浄運転・手動配管洗浄を行うときや停電復旧後も表示は消えます。

■排水時に自動配管洗浄しない？

●浴そうの排水までに自動配管洗浄が完了している場合があります。「配管洗浄完了」が表示されます。



●循環口付近までお湯が減った状態で、ふろ自動運転が終了したときは、自動配管洗浄しません。「配管洗浄完了」は表示されません。

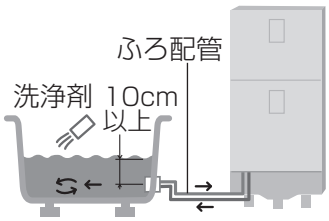
■手動配管洗浄

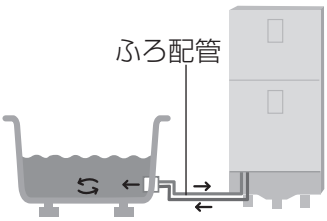
●配管の洗浄は手動でも行えます。（P.36）
手動で行う場合は、浴そうにお湯がないときに行ってください。

ふろ配管（洗浄運転）

■洗浄剤によるふろ配管洗浄（6 か月に 1 回）

●別売品の「ふろ循環回路洗浄剤」（品番 AD-3755-2AH）をおすすめします。
●市販の給湯機用ふろ釜洗い洗剤（1 つ穴用）もご使用いただけます。





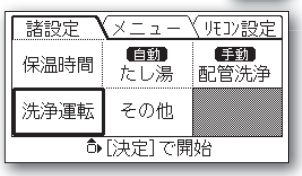
1. 配管を洗う

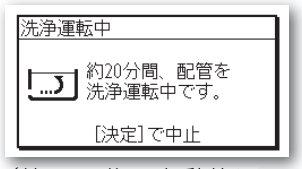
準備：①浴そうに十分お湯があるか確認する。
（循環口から 10cm 以上）
●残り湯も利用できます。
②浴そうに洗浄剤を入れる。

（浴室リモコンのみ）

1 メニュー/戻る を押して 決定 で操作

2 諸設定 の 洗浄運転 を選び、 決定





（約 20 分で自動的に
完了します）

■中止するとき
→もう一度 決定

2. 配管をすすぐ

準備：①浴そうの水をすべて抜く。
②再び、浴そうに水を貯める。
（循環口から 10cm 以上）

1 「1. 配管を洗う」の手順 1、2 を行う

2 浴そうの水を抜き、浴そうと
浴そうフィルターを掃除する

●汚れがひどい場合は、くり返し洗浄運転を
行ってください。

点検する

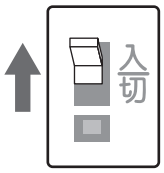
安心してお使いいただくために、年に２～３回の点検を行ってください。

漏電しゃ断器（作動点検）

1 通電中に漏電しゃ断器のふたを開けて、テストボタンを押す

2 漏電しゃ断器が「切」になるか確認する

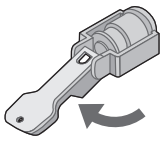
3 漏電しゃ断器を「入」にし、ふたを閉じる



逃し弁（作動点検）

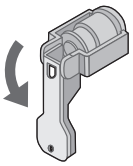
●脚部化粧カバー（別売品）を取り付けている場合は、前カバーを取りはずしてから、点検してください。（P.38）

1 ふたを開け、逃し弁レバーを上げる

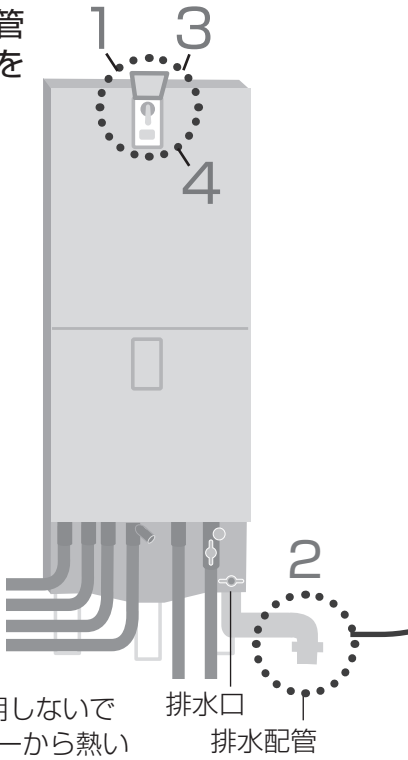


2 排水口または排水配管からお湯が出ることを確認する
（約 10 秒間）

3 逃し弁レバーを下げ、お湯が止まることを確認する

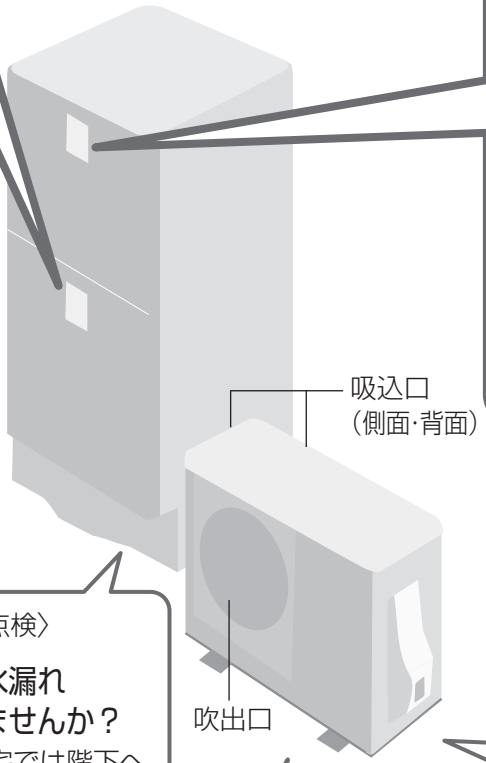


4 ふたを閉じる



お願い

●逃し弁の点検中は、お湯を使用しないでください。（混合水栓やシャワーから熱いお湯が出ることがあります）



お知らせ

●沸き上げ運転中は、逃し弁レバーが下がっていても、水からお湯になるときの膨張水が、排水口や排水配管から排水されます。（故障ではありません）

〈日常の点検〉
床面に水漏れしていませんか？
（集合住宅では階下へ被害が及ぶおそれ）

〈日常の点検〉
ドレンホースや排水経路が、ごみ、凍結などで詰まっていませんか？
（ヒートポンプユニットからの水漏れの原因）

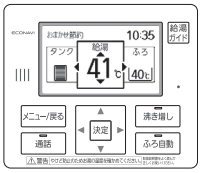
〈日常の点検〉
吸込口や吹出口をふさいでいませんか？
（能力低下や故障の原因）

⚠警告

禁止 **近くにガス類の容器や引火物を置かない**
（電気部品のスパークにより引火し、発火の原因になります）

（水漏れ点検）

1 リモコンに「沸上中」と表示されていないことを確認する



2 排水口または排水配管からお湯が出ていないか確認する

●お湯が出ているときは…
→逃し弁レバーを数回上下に動かし、お湯が止まるかを確認する。

⚠警告

禁止 **排水口や排水配管から出るお湯に触れない**
（やけどの原因になります）

お願い

●上記の点検により作動不具合や水漏れするときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。

定期点検が必要です

家庭用ヒートポンプ給湯機を長期間にわたり、安全で快適にご使用いただくために、逃し弁、減圧弁など３年に１回程度、専門技術者による定期点検整備を行ってください。
なお、給水用具（逆流防止装置）に関しては（社）日本水道協会発行の「給水用具の維持管理指針」に示されている定期点検を実施してください。期間は３年に１回程度をおすすめします。
お買い上げの販売店または工事店にご相談ください。

逃し弁、減圧弁など、設置条件、使用条件、特殊環境によっては劣化しやすい消耗部品があり、定期的な点検が必要です。
また、お湯の逆流を防止するための逆流防止装置が正常に機能していることを確認する必要があります。
長期間（10 年程度）使用されている場合は、毎年「定期点検」をお受けください。ただし補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後９年となっており、部品によってはご用意できない場合がありますので、ご容赦願います。

■ 定期点検整備契約の実施について

●**お申込み先** —— お買い上げの販売店
●**点検整備内容** —— 安全性の点検整備・システム機能の点検整備（配管など）・消耗・劣化しやすい部品の交換

■ 定期点検整備の主な内容

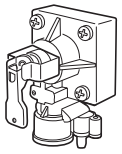
項　目	点検整備の内容
据付状態の点検	●配管接続部の水漏れ確認　●電気絶縁チェック
	●配管保温材の確認　●設置面の確認
機能部品の点検	●逃し弁の水漏れ確認　●ポンプの点検　●減圧弁の点検
	●逆流防止装置の動作確認　●給水しゃ断弁の点検（屋内用のみ）
	●電気部品（配線、導通）動作の確認
清掃・整備	●タンク下部のスケール沈殿物の排出　●ストレーナー（フィルター）の清掃
	●機能部品の清掃　●ドレンの清掃

消耗部品について

逃し弁、減圧弁は消耗部品です。使用水質によっては、３年程度で消耗・劣化しやすい部品があります。
点検の結果、部品交換が必要な場合、お買い上げの販売店または工事店にご相談ください。

逃し弁

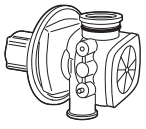
使用水質によっては、弁摺動部にスケールが付着したり、弁座シート部が磨耗して水漏れの原因になりますので交換が必要です。



逃し弁

減圧弁

使用水質によっては、減圧弁のダイヤフラム（ゴム製）や弁摺動部にスケールが付着したり、弁座シート部が磨耗して水漏れの原因になりますので交換が必要です。



減圧弁

一定期間使わないとき

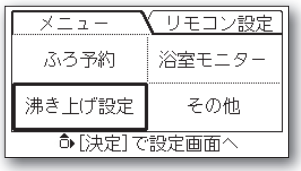
旅行などで長期間使わないときは、沸き上げを休止できます。

タンクの沸き上げを休止する（1 ～ 15 日間）

（台所リモコン）
沸き上げを休止する
沸き上げ休止

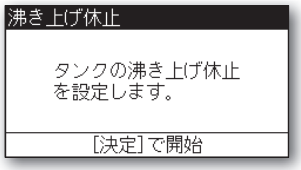
1 メニュー/戻る を押して 決定 で操作

2 メニュー の 沸き上げ設定 を選び、 決定



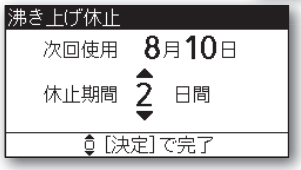
3 ▲▼で「休止設定」を選び、 決定

4 決定

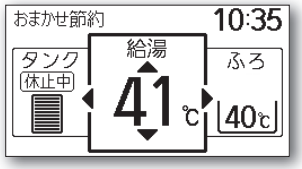


●休止期間は
1 ～ 15 日間
の設定ができます。

5 ▲▼で休止期間を合わせて、 決定



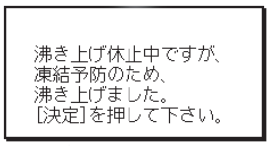
●次回使用日の
前夜から沸き
上げを再開し
ます。



●1 日間に設定すると、当日 23 時まで沸き上げを休止します。
時刻は電力契約により異なります。

■休止期間を変えるとき→手順３の後、「期間変更」を選び決定する。
休止期間を変更して、決定する。

■中止するとき →手順３の後、「休止取消」を選び決定する。



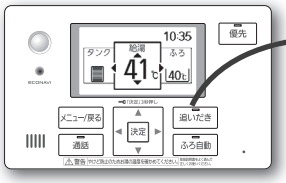
●休止中でも外気温が低い場合は、
ヒートポンプ給湯機の凍結予防のため
沸き上げ運転をします。

ふろ配管の水抜きをする
貯湯ユニット・ヒートポンプユニットの水抜きをする

長期間（1か月以上）使わないときや、電源を切っておくときは、凍結によるタンクや配管の破損、水漏れの防止とタンク内を清潔に保つため、水抜きをしてください。
脚部化粧カバー（別売品）を取り付けている場合は、前カバーを取りはずしてから行ってください。（P.38）

水抜きをする（1 か月以上使わないとき）

1 浴そうを空にして ふろ配管に残った水を抜く（浴室リモコン）



追いだき ……▶ 追いだき を押して停止

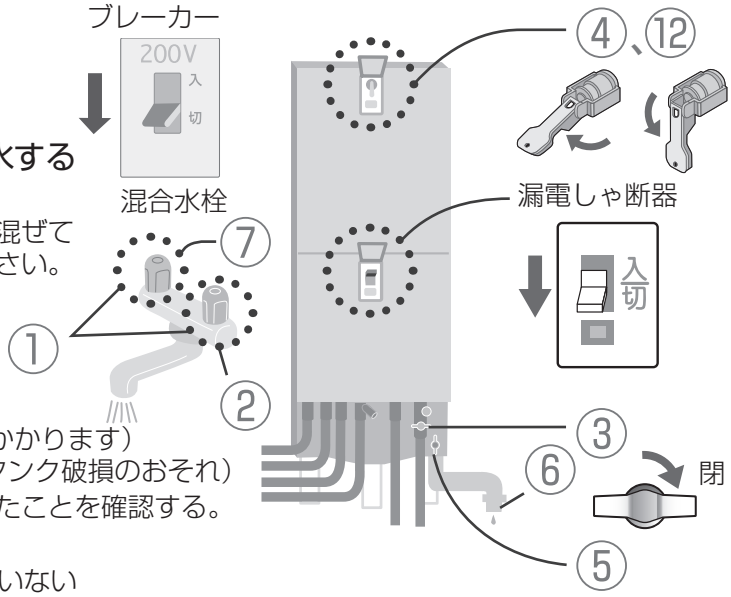
循環口から水が出なくなったら…

●ポンプが作動し、配管に残っている水を浴そうに排水します。

2 配線用しゃ断器（ブレーカー）と 漏電しゃ断器を「切」にする

3 貯湯ユニット内のお湯をすべて排水する

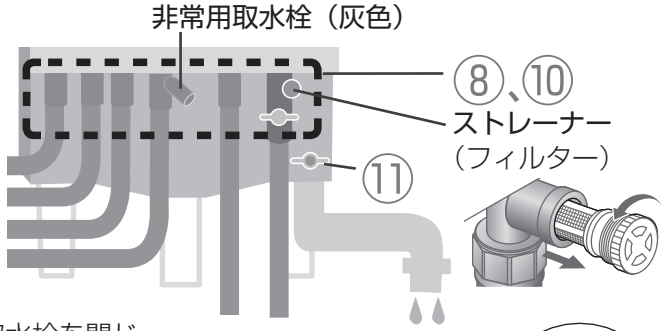
①混合水栓のお湯側と水側を開き、お湯が出なくなるまで出す。必ず水を混ぜてぬるめのお湯にしてから排水してください。（タンク内を水にする）
②混合水栓の水側を閉じる。
③給水元栓※を閉じる。
④逃し弁レバーを上げる。
⑤排水栓を開き、排水する。（約 1 時間かかります）
排水中は逃し弁レバーを下げない。（タンク破損のおそれ）
⑥排水口や排水配管から水が出なくなったことを確認する。
⑦混合水栓のお湯側を閉じる。
※給水元栓が図の位置に取り付けられていない場合はお買い上げ先にご確認ください。（配管工事により、取付位置が異なる場合があります）



⚠警告 禁止 **お湯に触れない**
（熱いお湯が出たとき、やけどの原因になります）

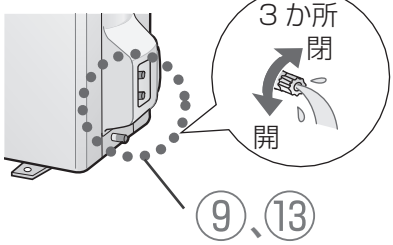
4 配管などに残った水を抜く

⑧貯湯ユニットのすべての水抜き栓と非常用取水栓（P.9）を左に回してゆるめ、ストレーナーは、はずす。
⑨ヒートポンプユニットの水抜き栓（3か所）をゆるめる。（抜かないでください）
●配管途中に水抜きバルブが取り付けられているときは、すべて開いてください。
●水抜きバルブは、工事により取付位置が異なります。不明なときはお買い上げ先にご確認ください。



5 水が出なくなったら…

⑩貯湯ユニットのすべての水抜き栓と非常用取水栓を閉じ、ストレーナーを取り付ける。
⑪排水栓を閉じる。
⑫逃し弁レバーを下げる。
⑬ヒートポンプユニットの水抜き栓（3 か所）を閉じる。
●配管途中の水抜きバルブを開いたときは、閉じてください。
●水抜きをしたときは、凍結予防ヒーターの電源プラグを抜いておいてください。（P.49）



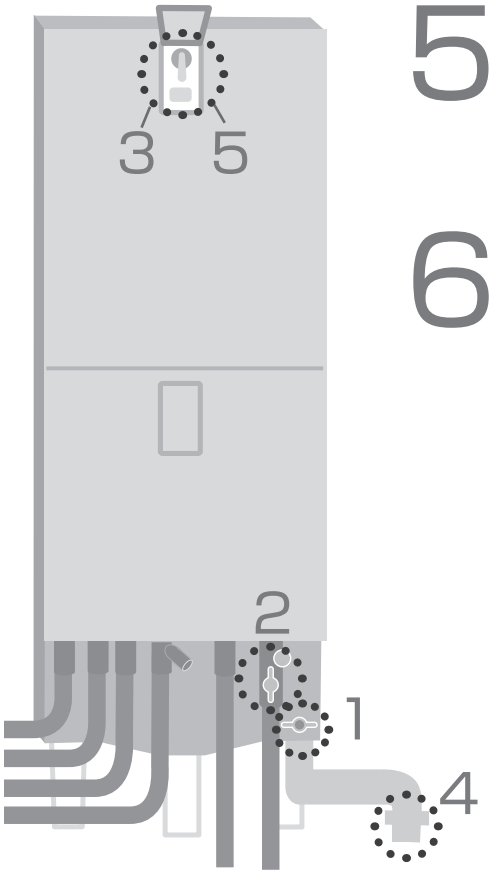
●再びご使用になるときは、「タンクのお湯（水）を抜いたとき」（P.46）に従ってください。

タンクのお湯(水)を抜いたとき

タンクのお湯（水）を抜いたときは、タンクを満水にして配管内の空気抜きの後、水を沸き上げる必要があります。
タンクを満水にしないと故障の原因となり、使用できません。

1. タンクを満水にする

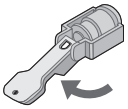
貯湯ユニット



1 排水栓を「閉」にする

2 給水元栓※を「開」にする

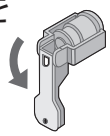
3 逃し弁レバーを上げる



4 排水口または排水配管から、水が出ることを確認する

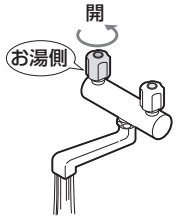
（連続で水が出始めたら満水。
約 30 ～ 40 分かかります）

5 逃し弁レバーを下げる



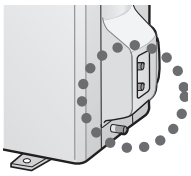
6 混合水栓のお湯側を開き、水が出るのを確認して閉じる

●お湯の出し方は混合水栓のタイプで異なります。（P.15）



※給水元栓が図の位置に取り付けられていない場合はお買い上げ先にご確認ください。
（配管工事により、取付位置が異なる場合があります）

2. ヒートポンプユニットの空気を抜く



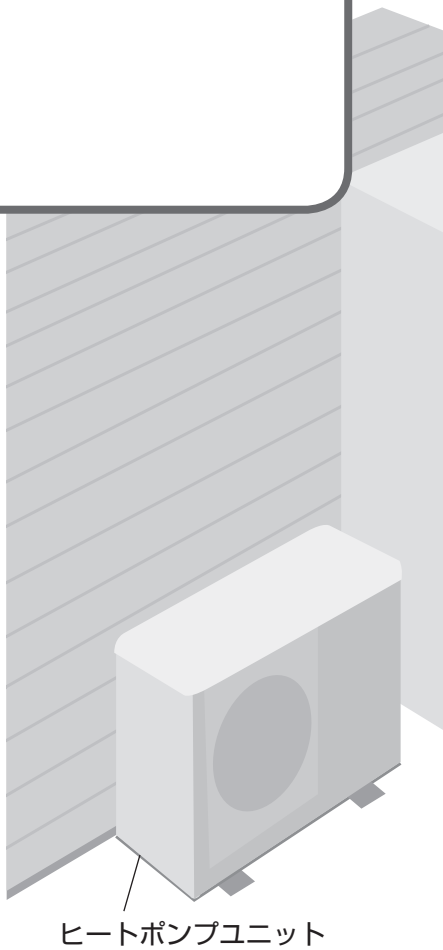
ヒートポンプユニット

1 水抜き栓（3 か所）を開く

●1 回転以上回して、1 分以上水が出ることを確認してください。
水抜き栓は抜かないでください。

2 水抜き栓（3 か所）を閉じる

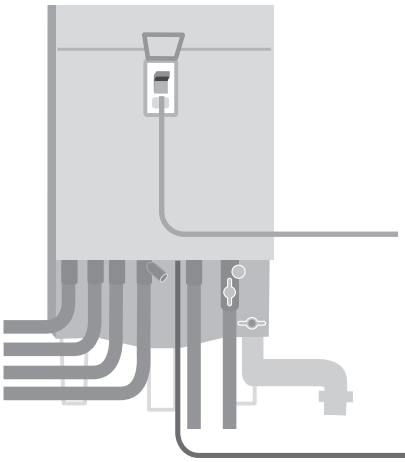
●脚部化粧カバー（別売品）を取り付けている場合は、前カバーを取りはずしてから行ってください。（P.38）



ヒートポンプユニット

3. 電源を入れる

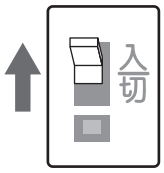
貯湯ユニット



1 配線用しゃ断器（ブレーカー）を「入」にする

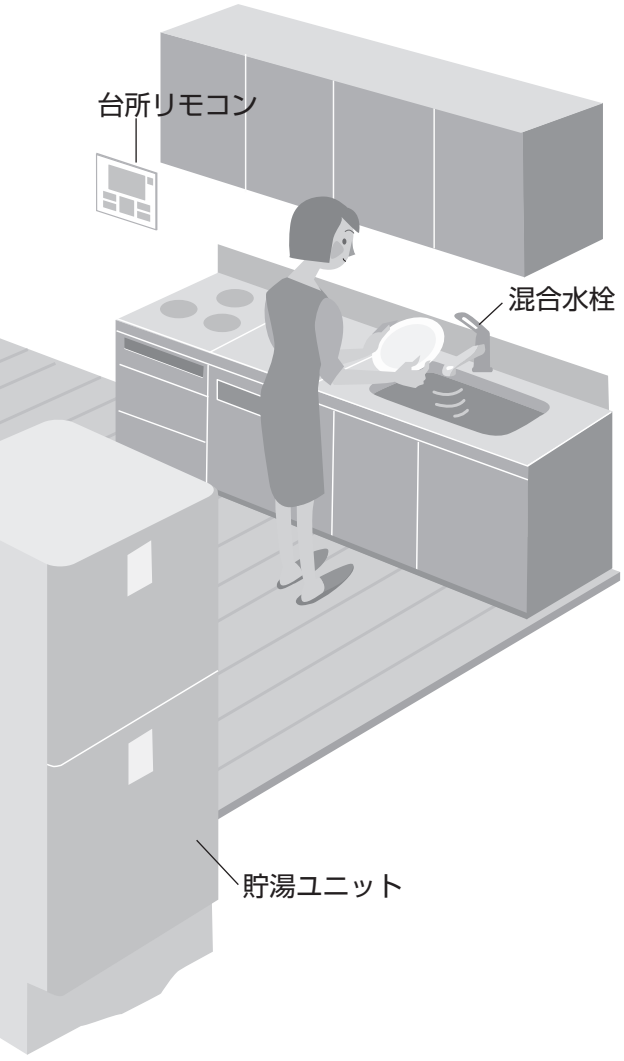
配線用しゃ断器
（ブレーカー）

2 漏電しゃ断器を「入」にする

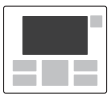


お願い

●必ず、タンクを満水にしてください。
ヒートポンプユニットの空気抜きが完了していることを確認してから電源を入れてください。

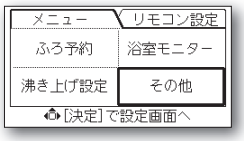


4. 配管内の空気を抜く

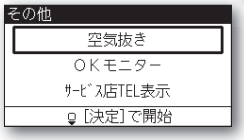

（台所リモコン）

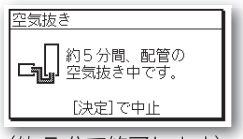
1 メニュー/戻る を押して 決定 で操作

2 メニュー の その他 を選び、決定



3 ▲▼で「空気抜き」を選び、決定





（約５分で終了します）

4 お湯側を開き、連続的に水が出始めたら閉じる

●配管内の「空気抜き」をしないと、ヒートポンプ給湯機が故障する原因となります。

●タンク全量沸き上るのは翌朝です。

●すぐに使いたいときは、手順１～４の後、沸き増し を押してタンクにお湯が貯まるのをお待ちください。（P.28）

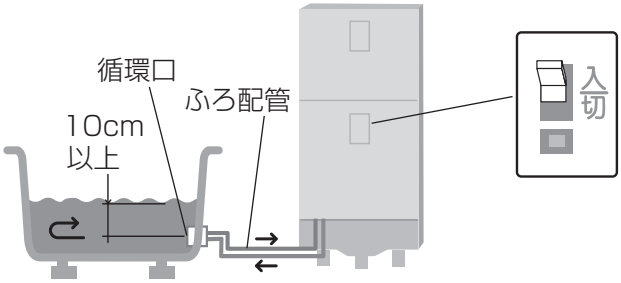
凍結のおそれがあるとき

外気温が 0℃以下になると、ふろ配管が凍結するおそれがあるため、浴そうにお湯を残しておいてください。
ふろ配管の凍結予防運転を自動で行います。

ふろ配管の凍結予防をする

浴そうに、お湯(水)を残しておくと、ふろ配管の凍結予防を自動で行います。

1 浴そうにお湯や水をはったままにする

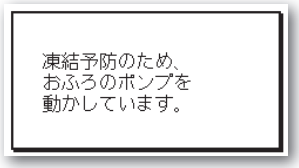


●漏電しゃ断器は切らないでください。

●入浴後排水をせず、お風呂にお湯を残しておきます。
(循環口から 10cm 以上)

●お湯や水がない場合は、水をはってください。
(水がないと循環口から水が出たり、30 分おきに作動音がします)

外気温が約 3℃より低くなると、自動的にポンプが作動し、ふろ配管に浴そうのお湯(水)を循環させます。さらに外気温が低くなると、タンク内のお湯を使用して凍結予防します。このため使用湯量が増えます。(P.25)



●ふろ凍結予防運転中は、浴室リモコンの画面に表示が出ます。

●ふろ自動運転中も、ふろ凍結予防運転をすることがあります。

●凍結予防運転中はポンプが作動し、音がします。

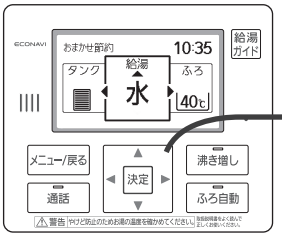
■ふろ凍結予防運転が自動で働くのを止めるとき

→「凍結予防設定」を「しない」にする。(P.37)

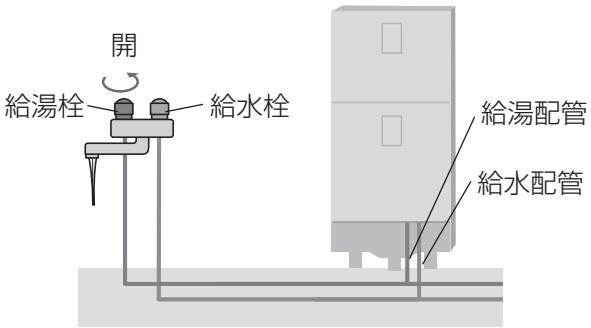
●ふろ凍結予防設定を「しない」にしていても、0 ℃以下になるとポンプが作動して、浴そうに水が出てくることがあります。

■給水・給湯配管の凍結防止

外気温が 0℃以下になると、凍結予防の工事を行っていても、配管が凍結することがあります。このようなときは、リモコンで湯温を「水」に設定して給湯栓を少し開いておいてください。



▼で湯温を「水」に設定する。
(P.14)



● 1 分間に 200cc 程度出るように給湯栓を開けてください。

■ヒートポンプ給湯機の凍結予防運転(自動で行います)

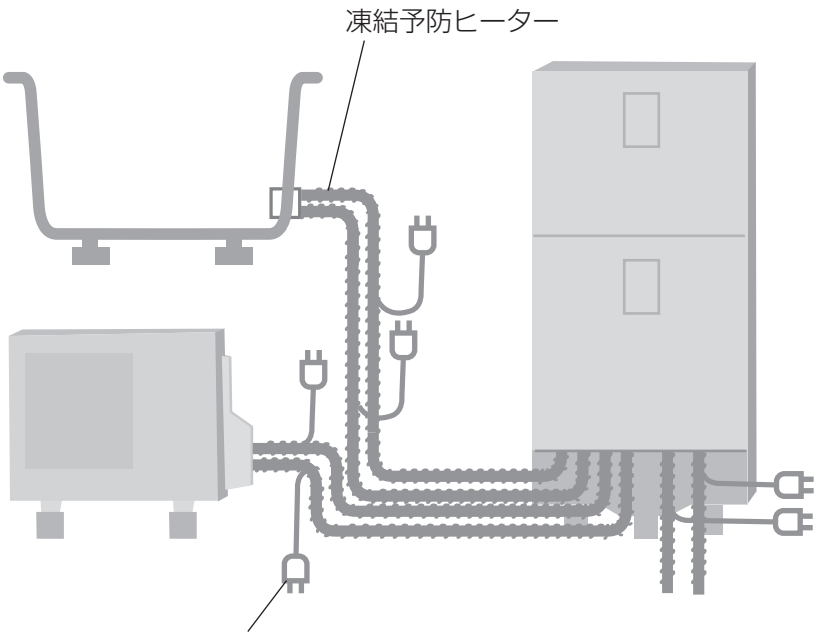
●外気温が約 3℃より低くなると配管の凍結予防のため、ポンプを作動させます。ポンプが作動しても配管温度が上がらないときは自動的に沸き上げ運転を行い、凍結予防します。

●漏電しゃ断器は切らないでください。

冬季に外気温が 0℃以下になる地域では、配管に断熱工事が施工されていても凍結します。
各配管に市販の凍結予防ヒーターを巻いて、配管を加温することで凍結を予防してください。
※凍結するおそれのない場合は、ヒーターは巻かれていません。不明なときはお買い上げ先にご確認ください。

凍結予防ヒーターを使う

1 すべてのヒーターの電源プラグをコンセントに差し込む



●プラグの数やコンセントの位置は工事により異なります。

●外気温が低くなると自動的に凍結予防ヒーターに通電して配管の凍結を予防します。
●凍結のおそれがあるときは、すべての凍結予防ヒーターに通電してください。
●停電中、凍結したときは停電復旧後、凍結予防ヒーターに通電して解凍します。
●凍結するおそれのない季節は、電源プラグを抜いてください。
●長期不在などで水抜きをしたときは、電源プラグを抜いておいてください。

お願い

●配管は断熱材で覆われています。断熱材が破損していると凍結するおそれがあります。破損している場合や、配管が断熱材から露出している場合は、お買い上げ先にご連絡ください。

⚠注意

禁止 **凍結のおそれがあるときは電源を切らない**
（配管などが凍結して破損することがあるため、水漏れの原因になります）
電源を切るときは、水抜きをしてください。
（P.45）

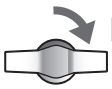
断水したとき・停電したとき

断水したときは、給水元栓を閉じてください。復旧後はお湯を使う前に、汚れた水を出してください。

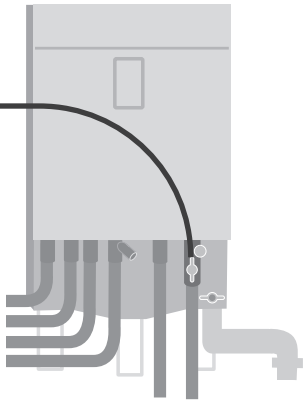
断水したときは

脚部化粧カバー（別売品）を取り付けている場合は、前カバーを取りはずしてから行ってください。（P.38）

1 給水元栓を閉じる



給水元栓が図の位置に取り付けられていない場合はお買い上げ先にご確認ください。（配管工事により、取り付け位置が異なる場合があります）



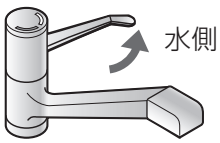
●断水中は、給湯やお湯はり、追いだきができません。
●給水元栓を閉じないと、タンクのお湯や水が濁る場合があります。断水復旧後にお湯や水の出る勢いが小さくなる場合があります。

復旧したときは

復旧後は、お湯を使う前に、断水中に配管にたまった汚れた水を出してください。

1 混合水栓の水側を開けて、水を十分出す

●汚れた水が出なくなれば、閉じてください。



2 給水元栓を開ける

停電したときは

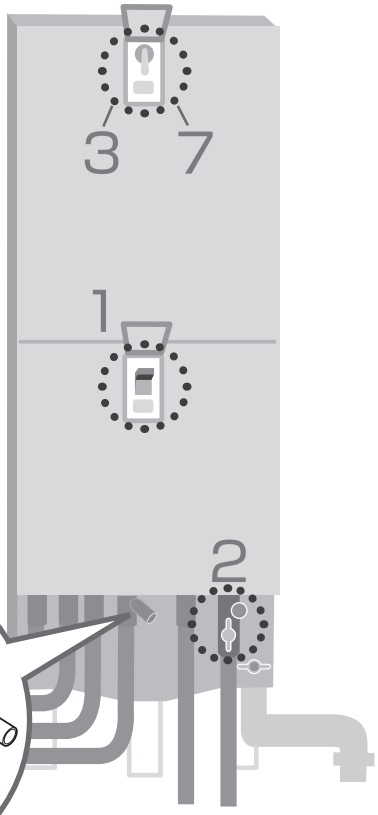
タンクのお湯は使えますが、湯温調節ができないため、高温のお湯や水が出る場合があります。必ず湯温を確かめてからご使用ください。特に水温の低い冬場などは、湯温が低くなる場合があります。タンクのお湯がなくなると水しか出ません。

●お湯はりや保温などはできません。

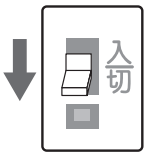
断水や停電中は、市販のホースを接続して、タンクの水を生活用水として使えます。（飲用は避けてください）

タンクの水を生活用水に使う

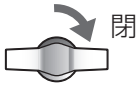
脚部化粧カバー（別売品）を取り付けている場合は、前カバーを取りはずしてから行ってください。（P.38）



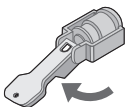
1 漏電しゃ断器を「切」にする



2 給水元栓を閉じる



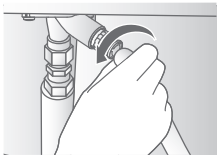
3 逃し弁レバーを上げる



4 市販のホースを非常用取水栓に差し込む

●推奨品：
網入り水道用ホース
（内径15mm または17mm）

5 お湯（水）を出す



ホース差し込み部を持ち、左に回す。
（熱湯を直接排出しないでください）
●お湯（水）を出している間は逃し弁レバーを下げないでください。

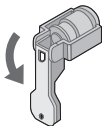
⚠警告 禁止 **お湯に触れない**
（熱いお湯が出たとき、やけどの原因になります）

■使用後は…

6 お湯（水）を止める

ホース差し込み部を持ち、右に回す。

7 逃し弁レバーを下げる



●凍結のおそれがある場合は、漏電しゃ断器を「入」に戻してください。

■断水が復旧したときは…
「タンクのお湯（水）を抜いたとき」（P.46）に従ってタンクを満水にしてください。

故障かな？

こんなときは		ここをご確認ください
給湯	お湯が出ない	●給水元栓が閉じていませんか？→開いてください。（P.46） ●断水していませんか？→復旧したら処置をしてください。（P.50） ●給水配管が凍結していませんか？ →凍結が解消するまでお待ちください。 凍結のおそれがあるときは。（P.48、49）
	お湯の出が悪い	●ガス（石油）給湯機と比べると、若干お湯の出が弱くなります。 →水道の圧力を減圧して一定の水圧に調整しています。
		●リモコンの給湯温度を60 ℃に設定し、水と混ぜてご使用ください。（P.14） 混合水栓のタイプによっては、蛇口を全開にしてもお湯の出が悪いことがあります。
		●ふろ自動運転中など、給湯以外でお湯を使用中は、蛇口やシャワーから出るお湯の量が少なくなることがあります。
		●貯湯ユニットの給水口のストレーナー（フィルター）にごみなどが詰まっていませんか？ →次の手順で掃除を行ってください。 1. 漏電しゃ断器を「切」にした後、「一定期間使わないとき」に従ってタンクのお湯をすべて排水する。（P.45） 2. ストレーナーをはずし、網を掃除する。 3. ストレーナーを閉じ、「タンクのお湯（水）を抜いたとき」（P.46）に従って再びご使用ください。 ※掃除後もお湯の出がよくならない場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
お湯の温度	お湯がぬるい （設定した温度にならない）	●給湯温度の表示は目安です。 ・配管の放熱により、設定温度よりも低くなることがあります。 ・タンク内の湯温が低いときは設定温度にならないことがあります。
		●配管内に残っている水が出てくることがあります。 →お湯が出るまで、しばらくお待ちください。
	給湯・シャワーの湯温が上がらない	●サーモスタットタイプの混合水栓使用時に混合水栓側の設定温度まで上がらないときは、リモコン側の給湯温度を10 ℃以上高めに設定してください。 それでも上がらないときは、混合水栓のメーカーにお問い合わせください。 ●1か所のみの湯温がおかしいときは、混合水栓の故障の可能性があります。 お買い上げの販売店にご相談ください。 ●混合水栓で湯側の量が少ないとき →リモコンに「給湯中表示」が出ていることを確認してください。
	湯温が上下したり水になったりする	●次の場合が考えられます。 ・お湯はりやたし湯、高温たし湯と給湯を同時に行ったとき ・お湯の出したり止めたりをくり返したとき ・2か所以上でお湯を使用したとき ・シャワーを確実に止めずに、再びシャワーを出したとき ・沸き上げ中にお湯を使用したとき ・水道の圧力が変動しているとき ●台所などで少ししかお湯を出していないとき。（水になります） →リモコンに「給湯中表示」が出ていることを確認してください。 →「給湯中表示」が出たり消えたりしているときは湯温が上下します。

ふろ（お湯はり）

こんなときは	ここをご確認ください
ふろ湯量を少なめに設定できない	●浴そうが大きい場合や循環口の位置が高い場合、最少湯量を100Lなど少なめに設定できないことがあります。（P.17）
「タンク残り湯少、」／「タンク湯切れ、」と「ふろ自動待機中。」／「追いだき待機中。」を交互に表示する	●タンクのお湯が足りないため、ふろ自動や追いだき運転がいったん停止しています。 →自動で沸き上げを開始しますが、この後もお湯をたくさん使うときは沸き増しスイッチを押してください。 昼間沸き上げを停止する設定にしているときは、自動で沸き上げを開始しません。（P.31）
	●沸き上げモードを「おまかせ節約」に設定している場合は、「おまかせ」にしてください。（P.30）
お湯はり中、浴そうへお湯が入ったり、止まったりする	●故障ではありません。 湯温や湯量をチェックしながら、お湯はりします。
お湯はり完了時刻が予約した時刻とずれる	●予約時刻より早くお湯はりが完了するようになっていますが、浴そうの残り湯の状態や水圧等の条件により前後します。
ふろ温度や湯量が設定とずれる	●設定したふろ温度、湯量の表示は目安です。浴そう内の温度は、配管の放熱や浴そうに冷やされて低くなることがあります。
	●お湯はり中に「ふろ自動」を入／切したとき、たし湯・高温たし湯・ぬるめをしたときは、ふろ温度が低くなったり、ふろ湯量が多くなったりすることがあります。
	●残り湯が循環口より低い水位のとき、ふろ湯量が多くなったり、あふれたりすることがあります。
	●お湯はり完了前に入浴すると設定した湯温や湯量にならないことがあります。
ふろ湯量がいつもと違う	●残り湯がある状態でお湯はりしていませんか？
	●浴そうの栓がゆるんでいませんか？
	●お湯はり開始の後で浴そうの栓をしていませんか？
お湯はり（ふろ自動運転）が勝手に中止された	●再度「ふろ自動」を押して、運転を再開してください。（P.16） 停電が約30 分以上続くと、ふろ自動運転が中止されることがあります。
追いだきしても熱くならない	●もっと熱くしたいときは、もう一度押してください。（P.20） お湯の温度が設定温度よりも低いときは、追いだきスイッチを押しても、設定温度以上に熱くなりません。 ●浴そうフィルターを掃除してください。（P.38） ●タンクのお湯が多くても、お湯が熱くないと追いだき時間がかかります。「沸き増し」をしてください。（P.28）
追いだきやふろ保温に時間がかかる	●タンクのお湯が熱くないと追いだきやふろ保温に時間がかかります。「沸き増し」をしてください。（P.28）

故障かな？（つづき）

	こんなときは	ここをご確認ください
ふろ（お湯はり）	追いだきが短時間で止まる	●浴そうフィルターの掃除をしてください。（P.38） ●お湯が循環口から10cm以上ない場合、追いだきできません。約7分後に追いだきランプが消灯します。（P.20） ●断水、給水元栓が閉じている、給水配管が凍結している場合などは、追いだきができません。（P.46、48、50）復旧後は、たし湯をしてから追いだきしてください。
	追いだきやふろ自動開始時に、「○時間以上かかります」の表示が出たり出なかったりする	●タンクの残湯量や浴そう残り湯の量、温度などにより、表示が出たり、出なかったりします。
	自動たし湯しない	●お湯が減ってもすぐに自動たし湯しないことがあります。 ●「ふろ保温時間」を「0 時間」に設定していませんか？（P.18）お湯はり完了後、ふろ自動運転は停止し、たし湯も行いません。 ●「自動たし湯設定」を「切」にしていませんか？（P.36）
	高温たし湯できない	●循環口から10ｃｍ以上お湯がないと高温たし湯できません。（P.21）
	高温たし湯をしても熱い湯が出ない	●タンク内の湯温が低いときは、高温のお湯が出ません。（P.21）
	循環口から冷たい水が出る	●開始後しばらくは、配管内に残っている水が出てくることがあります。（追いだきやたし湯、ふろ保温中） ●外気温が低いとき、ポンプが作動して冷たい水が出てくることがあります。（凍結予防運転中）（P.48）
	人がいないのに保温している（エコナビ保温中）	●浴室内に人がいないときでも、浴そうの湯温が約1℃以上、下がると、保温します。
	お湯が出ない	●ふろ配管が凍結していませんか？ →凍結が解消するまでお待ちください。
配管洗浄	自動配管洗浄しない（浴室リモコン画面に「配管洗浄完了」表示なし）	●自動配管洗浄設定が「切」になっていませんか？（P.37） ●混合水栓からお湯はりを行ったときは、自動配管洗浄はしません。（P.40） ●停電復旧後は、自動配管洗浄しません。（P.40） ●ふろ自動運転中は、自動たし湯設定が「切」の場合、入浴中に浴そうのお湯を使い浴そうの循環口付近までお湯が減ると、排水しても自動配管洗浄が動作しない場合があります。 ●ふろ自動運転中に浴そうのお湯を排水すると自動配管洗浄が動作しない場合があります。（P.40）
	自動配管洗浄しない（浴室リモコン画面に「配管洗浄完了」表示あり）	●残り湯を洗濯などに使用して、浴そうの循環口付近までお湯が減っていると、すでに自動配管洗浄している場合があります。（P.40）一度動作すると、その後は排水しても自動配管洗浄を行いません。
	ふろ自動「切」なのに勝手にお湯が足される	●浴そうの循環口付近までお湯が減ると、自動配管洗浄のため、お湯が出てきます。（P.40）（浴室リモコン画面に「配管洗浄完了」表示されます）

	こんなときは	ここをご確認ください
沸き上げ・沸き増し	お湯がなくなった、なくなりそう	●沸き増しスイッチを押してください。(P.28)
	沸き増し湯量を変更しても増えない（減らない）	●沸き増し湯量を選び 決定 スイッチを押しましたか？(P.28)
	設定した湯量まで沸き増しせず自動解除する 沸き増ししてもタンクいっぱいまで沸かない	●ほとんどお湯を使わずに、浴そうに残り湯がある状態で追いだきやふろ自動などを行った場合、ヒートポンプ給湯機の特性上、新たに沸き上げできない場合があります。そのため、残湯量表示が全点灯にならないことや、設定した湯量まで沸き増しせず自動解除することがあります。(P.28) ●使用可能湯量の表示は、目安であり、設定した湯量分増えないことがあります。
	お湯が足りない（「おまかせ節約」のとき）	●沸き上げモードを「おまかせ」にしてください。(P.30)
	お湯があまる（「おまかせ」のとき）	●少なくしたいときは、沸き上げモードを「おまかせ節約」にしてください。(P.30)
	「昼間沸き上げなし」設定なのに、昼間沸き上げる	●ヒートポンプ給湯機の凍結予防のため、外気温が低い場合は、昼間沸き上げをすることがあります。(P.48)
	沸き上げ休止中なのに沸き上げする	●ヒートポンプ給湯機の凍結予防のため、外気温が低い場合は、沸き上げをすることがあります。(P.48)
	夜になっても沸き上げをしない	●朝方に沸き上がるように水温や残湯量によって沸き上げ開始時間を調整するためです。
	夜間通電時間帯の終了時間よりも早く沸き上げが終わる	●前日の残湯量が多かったときは、早く沸き上げを完了することがあります。 ●冬季など外気温が低い場合には沸き上げ終了時間が前後することがあります。
	停電復旧後や修理後、夜間の沸き上げ湯量が変わった	●沸き上げモードの設定が変更になっていないか確認してください。 ●沸き上げの学習は15日間以上電源を切っていたとき、修理時などは初期化されます。 7日間で再度学習しますので、そのままお使いください。
残湯量表示	朝になってもタンクのお湯がいっぱいにならない（残湯量表示がすべて点灯しない）	●「おまかせ節約」に設定している場合は、お湯をあまり使わない日が続くと、タンクいっぱいまで沸かさずにお湯を節約します。(P.30)
		●冬季に外気温が低く、ヒートポンプユニットの能力が低下する場合は、夜間にタンクいっぱいに沸かない場合があります。
		●夜間（沸き上げ運転中）にお湯を多く使うと、タンクいっぱいまで沸き上げられないことがあります。
		●沸き上げ運転中に長時間の停電が起こると、タンクいっぱいに沸き上がらないことがあります。
	お湯がタンクいっぱいなのに沸き上げをする	●毎日の使用湯量が多いご家庭の場合は、次に使う分のお湯を確保するため、すぐに沸き上げする場合があります。 ●追いだきに使うお湯が多いと沸き上げする場合があります。(P.20)
	お湯が残っているのに、沸き上げをする	●ふろ自動運転中は、保温のため沸き上げ運転をする場合があります。 ●お風呂にお湯はりすることを予測して、昼間に沸かすことがあります。 →その日、お湯を使う予定がない場合は、「昼停止」で、その日の沸き上げを止めることができます。(P.31) ●ヒートポンプ給湯機の凍結を予防するために、沸かすことがあります。

故障かな？（つづき）

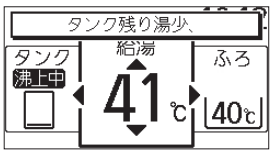
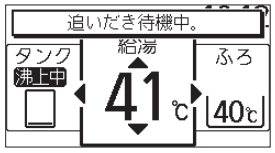
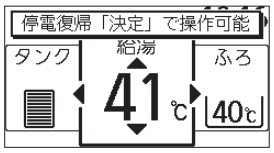
	こんなときは	ここをご確認ください
残湯量表示	お湯を使っていないのに残湯量表示が減る	●ふろ保温や追いだきをしていませんか？ タンクのお湯を使って温めるため、表示は減ります。（P.20） ●お湯を使わなくても、タンクの放熱により湯温が下がり残湯量表示が減ることがあります。 ●自動配管洗浄では約10Lのお湯を使用します。
	追いだき中、残湯量表示がすぐに減る	●「おまかせ」に設定してください。 「おまかせ節約」設定時、タンク内の湯温が低い場合など追いだきをすると、すぐに残湯量表示が減ることがあります。
	残湯量表示の減りかたが早い／おそい	●給水温度により使えるお湯の量は変化します。冬場、給水温度が低い場合は残湯量表示の減りかたは早く、夏場、給水温度が高い場合は、おそくなります。 ●タンクに残ったお湯は、お湯の温度が低くても、ヒートポンプ給湯機の特性上、新たに沸き上げません。前日のお湯の使用量が少なくて残った場合などは、タンクのお湯の温度が低いために、42℃換算での当日の残湯量表示の減りかたが、早くなります。
給湯ガイド（お湯使用量）	使用可能湯量が前日より減った／増えた	●使えるお湯の量は、使用した湯量を学習しながら変化します。 ●タンクに残ったお湯は、お湯の温度が低くても、ヒートポンプ給湯機の特性上、新たに沸き上げません。前日のお湯の使用量が少なくて残った場合などは、タンクのお湯の温度が低いために、42℃換算での当日の使用可能湯量は少なくなります。
	使用可能湯量があるのにふろ自動運転や追いだきができない	●使用可能湯量は42℃に換算した湯量を表示しています。 タンクに使えるお湯が十分あっても、タンクの湯温が低いときは、ふろ自動運転や追いだきが待機することがあります。
	使用可能湯量があるのに熱いお湯が出ない 高温たし湯で熱いお湯が出ない	●使用可能湯量は42℃に換算した湯量を表示しています。 タンクに使えるお湯が十分あっても、タンクの湯温が低いときは、高温のお湯が出ません。
	表示される使用湯量とお湯はり湯量が一致しない	●お湯はりの温度は設定した温度より少し高めにしています。 そのため、42℃でお湯はりを行っても実際のお湯はり湯量よりも、表示される使用湯量が多くなることがあります。
	お湯を使っていないのに使用湯量が勝手に増えた 使用パターンで、お湯を使っていない時間帯にグラフ表示されている	●自動配管洗浄や凍結予防運転などでも、タンクのお湯を使うため使用湯量に含まれます。また使用パターンにも表示されます。（P.25）
	使用湯量の数値が給湯量メーターで表示される数値と一致しない	●使用湯量には、お風呂の追いだきや保温で使用した湯量を含みますが、給湯量メーターには含まれません。そのため表示される数値が異なります。（P.15、25）

	こんなときは	ここをご確認ください
リモコン	バックライトがすぐに点灯しない	●待機電力の節電のため、点灯に約1秒ほどかかります。お待ちください。
	リモコンが勝手に点灯する	●浴室リモコンのバックライトが消灯していても、自動配管洗浄やふろ凍結予防運転中は点灯して案内表示が出ます。
	リモコンが勝手に消灯する	●表示節電設定をしていると設定時間後、節電のためバックライトが消灯します。
	浴室リモコンが操作できなくなった	●誤操作防止のロックがかかっていませんか？ →ロックを解除してください。(P.17)
	リモコンに何も表示されない	●落雷などでリモコンが一時的に（約10秒間）消灯することがあります。
	人がいないのに浴室リモコンのバックライトが勝手に点灯する	●浴室の扉を開けたままにしておくと、人が通るたびに、ひとセンサーが検知して、バックライトが点灯することがあります。
	入浴中なのに、浴室リモコンのバックライト表示が消えた	●リモコンの取付位置が高い場合や、約5分間浴室内で人が動かないでじっとしている場合など、人がいないと判断して、バックライトが消えることがあります。
	浴室に入っても、エコナビランプが点灯しない	●エコナビ設定が「入」になっていますか？(P.37) ●ふろ保温中以外は点灯しません。
通話（浴室モニター）	雑音が混ざる、一瞬途切れる	●故障ではありません。 機器の設置状況や使用環境などによって起こることがあります。
		●リモコンから20cm 以内に物を置くと、通話が途切れることがあります。
	「プッ」と音がする	●異常ではありません。 本体とリモコンが通信しているときに、音がすることがあります。
	「キーン」という大きい音がする	●通話音量、モニター音量を下げてください。(P.22) 台所リモコンと浴室リモコンの設置場所が近い場合などに生じることがあります。
	通話中、ラジオ放送が聞こえる	●異常ではありません。 ラジオの送信所が数km以内にある場合、ラジオ放送が聞こえることがあります。
音声	音声案内をしない	●通話中は音声案内を行いません。 ●音声案内を「切」にしていませんか？(P.33)
	音声が小さくなった（浴室リモコン）	●案内音量の設定を高くしてください。 ●スピーカー部 (P.10、12) に水がたまると音声が小さくなることがあります。水をふき取ってください。

故障かな？（つづき）

	こんなときは	ここをご確認ください
本体・運転音	貯湯ユニットの排水口・排水配管から水が漏れる	●沸き上げ中（リモコンの「沸上中」点灯時）： 異常ではありません。タンク内の水が膨張し、逃し弁が作動して水が出ます。
		●沸き上げ中以外（リモコンの「沸上中」消灯時）： →逃し弁レバーを数回上下に動かした後、逃し弁レバーを下げて水が止まることを、確認してください。 →上記操作後も、水が止まらない場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。 ※漏れたままにしておくと、湯温の低下、湯量不足により水道代、電気代が高くなることがあります。
	ヒートポンプユニットから水や蒸気が出る	●異常ではありません。 結露した水や、霜取りのための水や蒸気が出ます。
	ヒートポンプユニット底面から水が漏れている	●ドレンホースに波打ちや上り勾配があると、ほこりなどが詰まり、水漏れの原因になることがあります。お買い上げの販売店にご相談ください。 ●外気温や湿度によって、底面に結露することがあります。
	ヒートポンプユニット背面が霜で白くなる	●冬季は運転中に霜がつくことがあります。
	貯湯ユニットから音がする	●お湯はり中や沸き上げ運転中、配管洗浄中など、ポンプ作動時には音がします。 ●お湯はり開始後、浴そう内に水がない状態で何度かポンプが作動します。そのとき、大きめのポンプ音がしますが異常ではありません。 ●お湯はり完了後も自動で保温を行うためポンプ音がします。
		●お湯はりや沸き上げ運転以外のときにも動作確認のモーター音がすることがあります。
		●凍結予防運転で、お湯を循環させるためにポンプが自動的に作動します。 →循環口から10cm以上、浴そうに水をはってください。（P.48） ※凍結予防運転を「しない」に設定していても作動することがあります。
	ヒートポンプユニットから音がする	●沸き上げ運転中や凍結予防運転中、音がします。 ●冬季など、外気温が低くなると運転音が大きくなることがあります。 ●霜を取るために運転音がします。（運転、停止をくり返します）
その他	浴そうの水やタイルが青くなる	●給湯水に含まれている銅イオンによるものです。人体に害はありません。（P.8）
	お湯が白く濁っている	●異常ではありません。 水中に溶け込んでいる空気が細かい泡となっているためです。
	お湯から油が出る、お湯がくさい	●初めて使用するときは、配管工事のときの油や臭いがお湯に混じる場合がありますが、しばらくすると消えます。
	お湯や水を止めたとき、衝撃音（「ゴン、コン」という音）がする	●水圧が高い地域で発生します。 →水撃防止装置を取り付けるか、水撃低減機構付シングルレバーの混合水栓を使用するなどで対応することができます。 お買い上げの販売店にご依頼ください。
	水栓などを交換するときは…	●給水元栓を閉じても、貯湯ユニット内のお湯が出ることがあります。 水栓やパッキンなどを交換する場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

こんな表示が出たら…

こんな表示は	ここをご確認ください
	●追いだき運転でお湯不足になると、残湯量表示が急に減ることがあります。 追いだき運転がいったん停止し、沸き上げ運転をすることがあります。（P.20、55） ▼ 何度も表示が出るときは、沸き上げモードを「おまかせ」にしてください。（P.30） 手動で沸かすときは、「沸き増し」してください。（P.28）
	
タンクのお湯の温度が低く、浴そうにお湯が残っているため、ふろ自動に1時間以上かかります。 開始→[決定] 中止→[ふろ自動]	●お湯はりに時間がかかることをお知らせしています。 （時間は目安です。浴そうの断熱性能等により時間は異なります） ▼ お湯はりを ふろ自動 で中止し、浴そうの冷めたお湯を排水後お湯はり（ふろ自動運転）し直すことをおすすめします。 たびたび表示されるときは、沸き上げモードを「おまかせ」にしてください。（P.30）
タンクのお湯の温度が低いため、追いだきに1時間以上かかります。 開始→[決定] 中止→[追いだき]	●追いだきに時間がかかることをお知らせしています。 （時間は目安です。浴そうの断熱性能等により時間は異なります） ▼ 浴そうのお湯が冷めている場合は、タンクに熱いお湯が必要になります。 浴そうのお湯を排水した後、お湯はり（ふろ自動運転）し直すことをおすすめします。 たびたび表示されるときは、沸き上げモードを「おまかせ」にしてください。（P.30）
節約のため沸き上げの湯量を減らしました。 湯切れする場合は前もって沸き増しをおすすめします。	●おまかせ節約でタンクいっぱいまで沸き上げなかったことをお知らせします。 夏場など、お湯の使用量が少ないときは節約のため全量沸かさないことがあります。
昼停止または沸き上げ休止を中止してから行ってください。 タンクのお湯の温度が低く、浴そうにお湯が残っているためふろ自動ができません。	●昼間沸き上げが「昼停止入」（P.31）の場合や、沸き上げが「休止設定」（P.44）の場合に、タンクのお湯がぬるくなり、使えるお湯が足りなくなった状態でふろ自動運転や追いだきを行うと表示します。 ▼ 昼間沸き上げを「昼停止切」、沸き上げを「休止取消」に再設定してください。
昼停止または沸き上げ休止を中止してから行ってください。 タンクのお湯の温度が低く、浴そうにお湯が残っているため追いだきができません。	
	●30分以上の停電が発生したことをお知らせしています。 ▼ 決定 でもとの表示に戻ります。

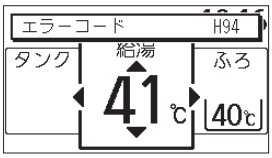
こんな表示が出たら…（つづき）

こんな表示は	ここをご確認ください

■次の表示は、「決定」を押して表示を消した後、対処してください。

こんな表示は	ここをご確認ください
U22 断水検出 断水が復帰してから ご使用ください。 解除は決定スイッチ	●給水配管やふろ配管が凍結したときに表示されることがあります。 ●お湯はり中に断水した ①断水が復旧したことを確認する。 ②「ふろ自動」を押し、ふろ自動運転する。 U22
U51 浴そう栓忘れ 浴そうの栓を確認し てください。 解除は決定スイッチ	浴そう栓を忘れている ①浴そうの栓をする。 ②「ふろ自動」を押し、ふろ自動運転する。 U51
U53 浴そう満水 ふろ湯量設定を下げ てください。 解除は決定スイッチ	お湯があふれている ふろの設定湯量を下げる。(P.17) 続けて保温やたし湯を自動で行いたいときは、「ふろ自動」を押してください。 U53
U54 初回残水 浴そうの水を抜いて 運転してください。 解除は決定スイッチ	浴そうの基準水位が設定されていない ①浴そうを空にして、栓をする。 ②「ふろ自動」を押し、ふろ自動運転する。 U54

■次の表示は、対処後、漏電しゃ断器を「切」にし、約1分間後「入」にして異常表示を消してください。



ヒートポンプユニットの空気抜き運転が不十分
→ヒートポンプユニットの空気抜きをする。(P.46)
給水元栓が閉じている→給水元栓を開ける。
給水管が凍結している→お買い上げ先へ、凍結予防工事を依頼する。 H94

それでも直らないときや次の場合は、以下の対処後、お買い上げ先へご連絡ください

●上記以外の異常表示（H□□かF□□）が出た
⇒給水元栓を閉じて、配線用しゃ断器、貯湯ユニットの漏電しゃ断器を「切」にしてください。

●凍結のおそれがある時期に異常表示が出た
⇒配管が凍結して故障が拡大する場合があるため、配線用しゃ断器、貯湯ユニットの漏電しゃ断器および配管の凍結予防ヒーターは「切」にせず、すみやかにご連絡ください。

（台所リモコン）
確認する

OK モニター

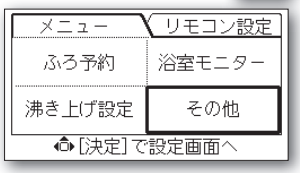
サービス店 TEL 表示

機種情報

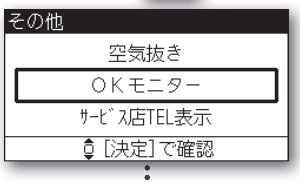
サービス店に連絡するときに、確認してください。

1 メニュー/戻る を押して ◀ 決定 ▶ で操作

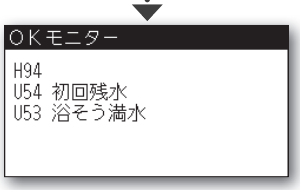
2 メニュー の その他 を選び、 決定



3 確認したい内容を選び、 決定



■異常表示を再度確認する



●異常表示は、最新のものから順に表示します。
● 1 分後に自動終了します。

■サービス店の電話番号を確認する

●試運転時に登録された場合のみ、表示されます。
● 1 分後に自動終了します。

■機種情報を確認する

●お買い上げの品番により、表示が異なります。
SUFQ…HE-370SUFQS・HE-460SUFQS
S_FQ…HE-370SFQS・HE-460SFQS
HE-370SFQMS・HE-460SFQMS
● 1 分後に自動終了します。

■終了するとき→ 決定

次の場合は、以下の対処後、お買い上げ先へご連絡ください

●貯湯ユニットの排水口・排水配管以外の場所から水が漏れる
●浴そうへのお湯はりが止まらない

⇒給水元栓を閉じて、配線用しゃ断器、貯湯ユニットの漏電しゃ断器を「切」にしてください。

次のような場合は、お買い上げ先へご連絡ください

●家庭用ヒートポンプ給湯機を移設したとき
●浴そうを交換したとき

そのまま使用すると、正常に運転できないことがあります。

仕様

			パワフル高圧力型		高圧力型	
システム品番　　(M)は屋内用			HE-370SUFQS	HE-460SUFQS	HE-370SFQ(M)S	HE-460SFQ(M)S
貯湯ユニット品番（M)は屋内用			HE-370SUFQ	HE-460SUFQ	HE-370SFQ(M)	HE-460SFQ(M)
ヒートポンプユニット品番			HE-45PSUF	HE-60PSUF	HE-45PSF	HE-60PSF
適用電力制度			時間帯別電灯通電制御型／季節別時間帯別電灯通電制御型			
設置場所(貯湯ユニット)			屋外用(M：屋内用)			
使用電源			単相　200V　(50／60Hz両用)			
最大電流			16A			
安全装置			漏電しゃ断器、缶体保護弁			
年間給湯保温効率(JIS)※1			3.0			
夜間消費電力量比率※1		%	80			
貯湯ユニット	タンク容量	L	370	460	370	460
	水側最高使用圧力(減圧弁設定値)	kPa	320(280)		190(170)	
ヒートポンプユニット	中間期標準加熱能力／消費電力※2	kW	4.5／0.970	6.0／1.315	4.5／0.970	6.0／1.315
	冬期高温加熱能力／消費電力※3	kW	4.5／1.500	6.0／2.000	4.5／1.500	6.0／2.000
	中間期標準運転電流※2	A	5.35	7.30	5.35	7.30
	運転音　中間期※2／冬期※3	dB	38／44	42／45	38／44	42／45
	設計圧力　高圧／低圧	MPa	14.0／9.0　(ゲージ圧)			
	冷媒の種類／充填量	g	R744／580	R744／620	R744／580	R744／620
	設置可能最低外気温度	℃	−10			
沸き上げ温度範囲※4		℃	約65～約90			
給湯温度設定		℃	水、32、35、38～47(1℃きざみ)、50、55、60			
ふろ自動	ふろ温度設定	℃	水、36～48(1℃きざみ)			
	ふろ湯量設定	L	100※5 ～ 500(20Lきざみ)			
	自動保温		ポンプ循環方式			
	自動たし湯		水位センサー検知方式(約2.5cm以上の水位低下により自動たし湯)			
外形寸法	貯湯ユニット：高さ×幅×奥行	mm	1810×600×680	2170×600×680	1810×600×680	2170×600×680
	ヒートポンプユニット：高さ×幅×奥行		660×799(867)×299　(　)はカバーを含む			
質量	貯湯ユニット（屋内用）	kg	71	80	65(66)	74(75)
	貯湯ユニット満水時（屋内用）		441	540	435(436)	534(535)
	ヒートポンプユニット		45	48	45	48
付属品	貯湯ユニット		取扱説明書･ご使用ガイド･工事説明書･保証書			
	ヒートポンプユニット		ドレンエルボ			

別売品	コミュニケーションリモコン	HE-NQFFW(台所リモコン:HE-NQFFM　浴室リモコン:HE-NQFFS)
	ボイスリモコン	HE-NQVFW(台所リモコン:HE-NQVFM　浴室リモコン:HE-NQVFS)
	増設リモコン	HE-RQVFZ

●※ 1. 年間給湯保温効率（JIS）は、消費者の使用実態を考慮に入れた給湯保温効率を示すために、1 年間を通してある一定の条件のもとにヒートポンプ給湯機を運転した時の単位消費電力量あたりの給湯熱量およびふろ保温熱量を表したものです。なお、値は省エネモードである「おまかせ節約」で測定した値であり、実際には、地域条件・運転モードの設定やご使用条件等により変わります。（沸き上げモード「おまかせ」に設定した場合やふろの沸かし直しをすると効率が低下し消費電力量が増える場合があります）
　* 一定の条件とは、東京・大阪を平均とした気象条件・給水温度で 40℃のお湯を 456L 使用しふろの保温時間を 3 時間（保温熱量 4.12MJ）行う条件を想定したものです。
　年間給湯保温効率（JIS）＝ 1 年間で使用する給湯とふろ保温に係る熱量÷ 1 年間で必要な消費電力量
　* 年間給湯保温効率算出時の条件
　着霜期高温条件：外気温（乾球温度 / 湿球温度）2℃ /1℃、水温 5℃、沸き上げ温度 90℃
　給湯保温モード条件（冬期）：外気温（乾球温度 / 湿球温度）7℃ /6℃、水温 9℃、沸き上げ温度 70℃（460L タイプは 65℃）
　給湯保温モード条件（着霜期）：外気温（乾球温度 / 湿球温度）2℃ /1℃、水温 5℃、沸き上げ温度 70℃（460L タイプは 65℃）
　* 夜間消費電力量比率：一定条件のもとにヒートポンプ給湯機を 1 日運転した時の総消費電力量に対する夜間消費電力量の比率
●※ 2. 中間期：外気温（乾球温度 / 湿球温度）16℃ /12℃、水温 17℃、沸き上げ温度 65℃
●※ 3. 冬期高温：外気温（乾球温度 / 湿球温度）7℃ /6℃、水温 9℃、沸き上げ温度 90℃
●※ 4. ヒートポンプユニットで沸き上げる温度です。タンク内の湯温は配管の放熱などにより低くなります。
●※ 5. 最少湯量は、浴そうの循環口の位置や、浴そうの大きさによって変化します。
●運転使用範囲は −10℃～ 43℃ です。
●沸き上げ運転をしていないときでも電力を消費します。リモコン点灯時：約 5W　　リモコン消灯時：約 3 W
（※ 1, ※ 2, ※ 3 の値は、日本工業規格 JIS C 9220：2011 に基づきます）

保証とアフターサービス よくお読みください

使いかた・お手入れ・修理などは

■まず、お買い上げ先へご相談ください。

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名

電　話　（　　）　　－

お買い上げ日　　年　　月　　日

修理を依頼されるときは

「故障かな？」「こんな表示が出たら…」（P.52 ～ 61）でご確認のあと、直らないときは漏電しゃ断器を「切」にして、お買い上げ日と下の内容をご連絡ください。

- ●製品名　家庭用ヒートポンプ給湯機
- ●品　番　HE-
- ●故障の状況　できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。

保証期間：お買い上げ日から本体・リモコンは 1 年間。ただし、ヒートポンプ冷媒系統は 3 年間、タンクは 5 年間（水漏れ現象に適用）です。

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※修理料金は次の内容で構成されています。

- 技術料　診断・修理・調整・点検などの費用
- 部品代　部品および補助材料代
- 出張料　技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間　9 年

当社は、この家庭用ヒートポンプ給湯機の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後 9 年保有しています。

■転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください。

ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

●使いかた・お手入れなどのご相談は……

パナソニック お客様ご相談センター　365日 受付9時～20時

電話 フリーダイヤル 0120-878-365

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

●修理に関するご相談は……

パナソニック 修理ご相談窓口

電話 フリーダイヤル 0120-878-554

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

• 上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

■各地域の 修理ご相談窓口 ※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

• 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

北海道地区	札幌	☎(011)894-1251	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7
	旭川	☎(0166)22-3011	旭川市2条通16丁目1166
	帯広	☎(0155)33-8477	帯広市西20条北2丁目23-3
	函館	☎(0138)48-6631	函館市西桔梗町589-241
東北地区	青森	☎(017)775-0326	青森市大字浜田字豊田364
	秋田	☎(018)868-7008	秋田市外旭川字小谷地3-1
	岩手	☎(019)645-6130	盛岡市厨川5丁目1-43
	宮城	☎(022)387-1117	仙台市宮城野区扇町7-4-18
	山形	☎(023)641-8100	山形市平清水1丁目1-75
	福島	☎(024)991-9308	郡山市備前舘2丁目5
首都圏地区	栃木	☎(028)689-2555	宇都宮市上戸祭3丁目3-19
	群馬	☎(027)254-2075	前橋市箱田町325-1
	茨城	☎(029)864-8756	つくば市筑穂3丁目15-3
	埼玉	☎(048)728-8960	桶川市赤堀2丁目4-2
	千葉	☎(043)208-6034	千葉市中央区末広5丁目9-5
	東京	☎(03)5477-9700	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17
	山梨	☎(055)222-5822	甲府市宝1丁目4-13
	神奈川	☎(045)847-9720	横浜市港南区日野5丁目3-16
	新潟	☎(025)286-0180	新潟市東区東明1丁目8-14
中部地区	石川	☎(076)280-6608	金沢市玉鉾2丁目266番地
	富山	☎(076)424-2549	富山市根塚町1丁目1-4
	福井	☎(0776)21-0622	福井市問屋町2丁目14
	長野	☎(0263)86-9209	松本市寿北7丁目3-11
	静岡	☎(054)287-9000	静岡市駿河区高松2丁目24-24
	愛知	☎(052)819-0225	名古屋市瑞穂区塩入町8-10
	岐阜	☎(058)278-6720	岐阜市中鶉4丁目42
	三重	☎(059)254-5520	津市久居野村町字山神421
近畿地区	滋賀	☎(077)582-5021	守山市水保町1166番地の1
	京都	☎(075)646-2123	京都市南区上鳥羽中河原3番地
	大阪	☎(06)7730-8888	大阪市城東区関目2丁目15-5
	奈良	☎(0743)59-2770	大和郡山市筒井町800番地
	和歌山	☎(073)475-2984	和歌山市中島499-1
	兵庫	☎(078)796-3140	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4
中国地区	鳥取	☎(0857)26-9695	鳥取市安長295-1
	米子	☎(0859)34-2129	米子市米原4丁目2-33
	松江	☎(0852)23-1128	松江市平成町182番地14
	出雲	☎(0853)21-3133	出雲市渡橋町416
	浜田	☎(0855)22-6629	浜田市下府町327-93
	岡山	☎(086)242-6236	岡山市北区野田3丁目20-14
	広島	☎(082)295-5011	広島市西区南観音1丁目13-5
	山口	☎(083)973-2720	山口市小郡下郷220-1
四国地区	香川	☎(087)874-3110	高松市国分寺町国分359番地3
	徳島	☎(088)624-0253	徳島市沖浜2丁目36
	高知	☎(088)834-3142	高知市仲田町2-16
	愛媛	☎(089)905-7544	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1
九州地区	福岡	☎(092)593-8002	春日市春日公園3丁目48
	佐賀	☎(0952)26-9151	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044
	長崎	☎(095)830-1658	長崎市東町1919-1
	大分	☎(097)556-3815	大分市萩原4丁目8-35
	宮崎	☎(0985)63-1213	宮崎市本郷北方字草葉2099-2
	熊本	☎(096)367-6067	熊本市健軍本町12-3
	鹿児島	☎(099)250-5657	鹿児島市与次郎1丁目5-33
沖縄地区	沖縄	☎(098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。http://panasonic.co.jp/cs/service/area.html　0112

ご相談窓口

使いかた・お手入れ・修理などはまず、お買い上げ先へご相談ください。
転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください。

●使いかた・お手入れなどのご相談は……

パナソニック 総合お客様サポートサイト

http://panasonic.co.jp/cs/

パナソニック お客様ご相談センター 365日 受付9時～20時

電話 フリーダイヤル **0120-878-365** ※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

音声ガイダンスを短くするには、案内が聞こえたら電話機ボタンの
「87」と「410＃」を押してください。
（番号を押しても案内が続く場合は、「＊」ボタンを押してから操作してください。）

■上記番号がご利用いただけない場合 **06-6907-1187**

■FAX フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan **Tokyo** (03) 3256 - 5444 **Osaka** (06) 6645 - 8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)
※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

●修理に関するご相談は……

パナソニック 修理サービスサイト

http://club.panasonic.jp/repair/

インターネットでのご依頼も可能です。

パナソニック 修理ご相談窓口

電話 フリーダイヤル **0120-878-554** ※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

• 上記電話番号がご利用いただけない場合は、
各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

パナソニックの会員サイト「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をしてください

特典 1	お宅の家電情報をまとめて登録／管理ができる
特典 2	使い方など商品情報をスムーズに入手できる
特典 3	エンジョイポイントをためてプレゼントに応募できる

PC http://club.panasonic.jp/

携帯

※このサービスは
WEB限定のサービスです。

愛情点検 長年ご使用の家庭用ヒートポンプ給湯機の点検を！

こんな症状はありませんか	ご使用中止
● 漏電しゃ断器が自動的に「切」になる。 ● 使用中にこげ臭いにおいがしたり、異常な音や振動がする。 ● 熱いお湯が出続ける。 ● 運転中以外に逃し弁から水が漏れる。 ● 貯湯ユニット、配管から水が漏れる。 ● その他の異常や故障がある。	事故防止のため、必ずお買い上げの販売店に点検をご依頼ください。

パナソニック株式会社　エアコンビジネスユニット
〒525-8520　滋賀県草津市野路東2丁目3番1-1号

© Panasonic Corporation 2012

F568719
S0612T0